



令和5年2月吉日

生徒・保護者各位

学校法人仙台育英学園

理事長 加藤 雄彦

令和4年度 学校評価の結果について（ご報告）

早春の候、皆様方におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本学園の学校評価委員会は、昨年10月に学校評価に関するアンケート調査を実施いたしました。その際、生徒並びに保護者の皆様にご協力をたまり誠にありがとうございました。

そして、この結果及び分析・考察につきまして、生徒対象・保護者対象の代表的な質問項目に絞り、HPに掲載をいたしましたので、是非ご一読をお願いいたします。

今後ともこの学校評価（アンケート調査）を継続して実施いたします。また、今回の評価結果につきましては、全教職員で共有し、本学園の教育活動の改善に有効活用しながら、生徒並びに保護者の皆様のご意向に応えられるよう努力して参ります。

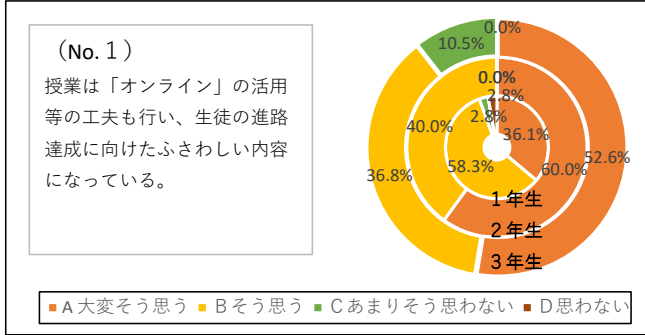
調査結果と考察

1 秀光中学校

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策のために実施しているオンライン授業によって、授業進度を遅らせることなく指導できている。しかし、中学校に入学したばかりの1年生には初めての経験でもあり、苦労しているようである。また、面談等を通じて、考査や各種調査の結果を知らせながら具体的な対策を指導していることは受け入れられている。(A-1)
○下の学年ほど、進路についての意識がまだ低いため、学力向上への取り組みや各種検定を受検する意義が理解されていないと思う。
○先輩から進路選択の経験を聴くなど、それぞれの学年に合わせた進路指導の充実が望まれる。

【表A】

I 授業について

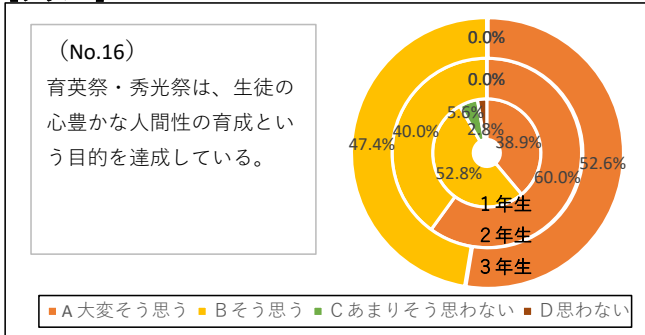
No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	36.1%	58.3%	2.8%	2.8%	1.6	
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	
		3年生	52.6%	36.8%	10.5%	0.0%	1.8	
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	27.8%	66.7%	2.8%	2.8%	1.4	
		2年生	50.0%	40.0%	10.0%	0.0%	1.8	
		3年生	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	2.1	
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	36.1%	55.6%	8.3%	0.0%	1.6	
		2年生	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	1.6	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	

II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	36.1%	58.3%	2.8%	2.8%	1.6	
		2年生	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	1.4	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.1%	58.3%	2.8%	2.8%	1.6	
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	30.6%	63.9%	2.8%	2.8%	1.4	
		2年生	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	36.1%	50.0%	11.1%	2.8%	1.4	
		2年生	10.0%	90.0%	0.0%	0.0%	1.2	
		3年生	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%	1.9	
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	55.6%	38.9%	5.6%	0.0%	2.0	
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	36.1%	47.2%	11.1%	5.6%	1.3	
		2年生	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	1.6	
		3年生	52.6%	36.8%	10.5%	0.0%	1.8	
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	1.9	
		2年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	38.9%	47.2%	8.3%	5.6%	1.4	
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	
		3年生	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	2.3	
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	31.4%	65.7%	2.9%	0.0%	1.6	
		2年生	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	2.4	
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2	

B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

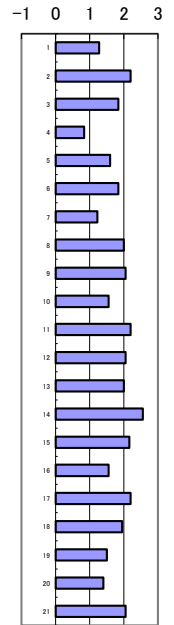


【分析・考察】

○今年度の秀光祭は久しぶりに対面で実施できたことは生徒たちにとって大変な喜びであった。
ステージ発表でも、生徒だけでなく保護者も多数参観できたことがとても良かった。(B-16)
○中学校に入学したばかりの1学年生徒にとって、中学校での生活指導や学習指導に初めは厳しさを感じていたようである。
○秀光祭の準備時間が足りなかったようで、かなり忙しい思いをした。内容を充実させるためにはある程度の準備時間が必要であるが、準備日程の工夫が必要である。

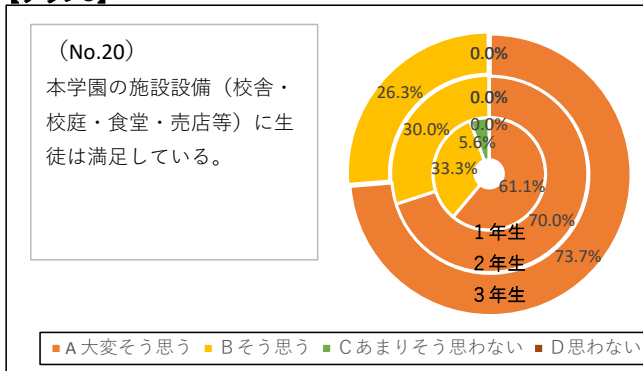
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	25.0%	66.7%	5.6%	2.8%	1.3
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
		3年生	47.4%	47.4%	5.3%	0.0%	1.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	16.7%	63.9%	13.9%	5.6%	0.8
		2年生	30.0%	70.0%	0.0%	0.0%	1.6
		3年生	42.1%	57.9%	0.0%	0.0%	1.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	22.2%	66.7%	11.1%	0.0%	1.2
		2年生	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	2.0
		3年生	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	38.9%	52.8%	5.6%	2.8%	1.6
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
		3年生	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	58.3%	36.1%	2.8%	2.8%	2.0
		2年生	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	2.6
		3年生	57.9%	42.1%	0.0%	0.0%	2.2
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	38.9%	50.0%	11.1%	0.0%	1.6
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
		3年生	47.4%	52.6%	0.0%	0.0%	1.9
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	38.9%	50.0%	8.3%	2.8%	1.5
		2年生	30.0%	60.0%	10.0%	0.0%	1.4
		3年生	57.9%	36.8%	5.3%	0.0%	2.1



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

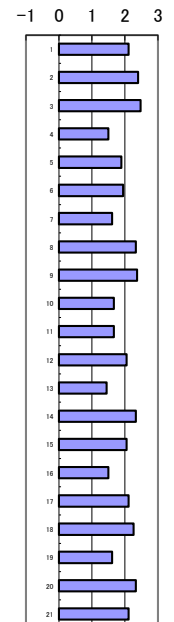
○生徒が毎日授業を受けている教室は明るく、ホワイトボードにプロジェクタで映像が投影されたり、ローズホールの食堂のメニューや設備、トイレのウォシュレットなど、入学したばかりの1年生にも好評である。また、OWNPCが授業で使えるwi-fi環境、英語学習の一環であるweblioも好評である。OWNPCは新型コロナウイルス感染拡大防止のためのオンライン授業にも利用できることも同様である。(C-20)

○下の学年ほど自分の思いと現実にギャップがあり、どのように努力したら良いのかわからないまま学校生活に取り組んでいるようである。

○様々な事情をもっている生徒もいることから、個に応じた指導に更に力を入れていきたい。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	61.1%	33.3%	5.6%	0.0%	2.1
		2年生	70.0%	30.0%	0.0%	0.0%	2.4
		3年生	73.7%	26.3%	0.0%	0.0%	2.5
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	36.1%	52.8%	11.1%	0.0%	1.5
		2年生	44.4%	55.6%	0.0%	0.0%	1.9
		3年生	52.6%	42.1%	5.3%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	41.7%	47.2%	11.1%	0.0%	1.6
		2年生	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
		3年生	68.4%	31.6%	0.0%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	38.9%	55.6%	5.6%	0.0%	1.7
		2年生	33.3%	66.7%	0.0%	0.0%	1.7
		3年生	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	36.1%	52.8%	8.3%	2.8%	1.4
		2年生	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
		3年生	52.6%	47.4%	0.0%	0.0%	2.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	38.9%	50.0%	8.3%	2.8%	1.5
		2年生	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	2.1
		3年生	63.2%	36.8%	0.0%	0.0%	2.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	41.7%	47.2%	11.1%	0.0%	1.6
		2年生	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	2.3
		3年生	61.1%	33.3%	5.6%	0.0%	2.1



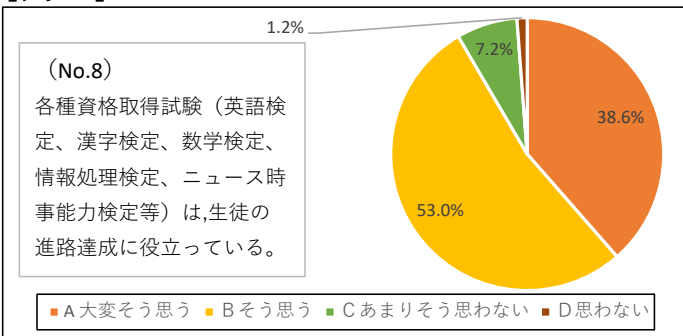
調査結果と考察

1 秀光中学校

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

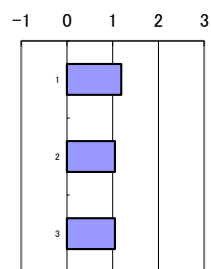
【分析・考察】

○英検を始めとした英語関係の検定、漢字検定、数学検定など、検定前の指導に力を入れて成果をあげている。また、生徒との二者面談だけでなく、保護者を交えた三者面談にも力を入れていることが保護者に好意的に受け入れられている。(A-8)
○在卒懇などの進路関係講演会は生徒たちには好評であるが、保護者が参加する機会が少ないので、状況がわかりにくいものと思う。また、長期休業中の講習会では塾などの講習会に参加する生徒がいたり、長期休業でしかできないことをさせたいという希望があったりする。
(A-7)
○講演会等はオンラインも含めて保護者にも参加できる機会を設けられないか検討したい。

【表A】

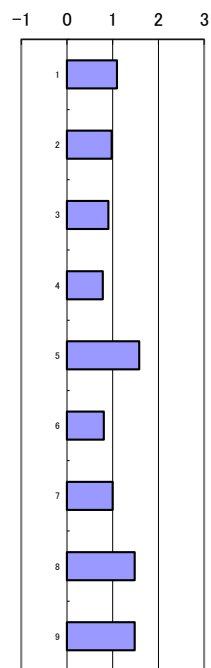
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	20.0%	69.4%	10.6%	0.0%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	16.5%	69.4%	14.1%	0.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	16.5%	69.4%	14.1%	0.0%	1.0



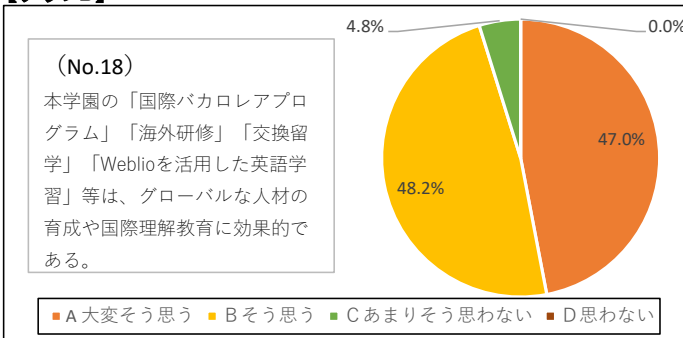
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	17.9%	70.2%	10.7%	1.2%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	15.7%	67.5%	16.9%	0.0%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	13.1%	69.0%	17.9%	0.0%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	19.3%	54.2%	22.9%	3.6%	0.8
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	38.6%	53.0%	7.2%	1.2%	1.6
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	16.9%	59.0%	21.7%	2.4%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	18.1%	65.1%	15.7%	1.2%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	39.8%	47.0%	10.8%	2.4%	1.5
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	34.9%	56.6%	6.0%	2.4%	1.5



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

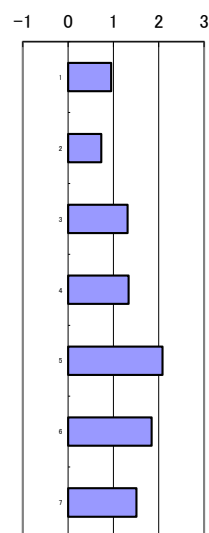


【分析・考察】

○OMYP関連の指導に力を入れていることが好意的に受け入れられている。新型コロナウイルス感染拡大防止対策についても、感染の危険があれば自宅療養やオンライン授業を積極的に取り入れていることも同様である。(B-18)
○ゼロディフェクトの考え方について、十分に理解されていないと思う。また、日頃の指導に不十分さを感じている結果と思う。(B-14)
○学校生活や学習などの基本的な習慣について、重点目標を定めながら更に指導を継続させていきたい。

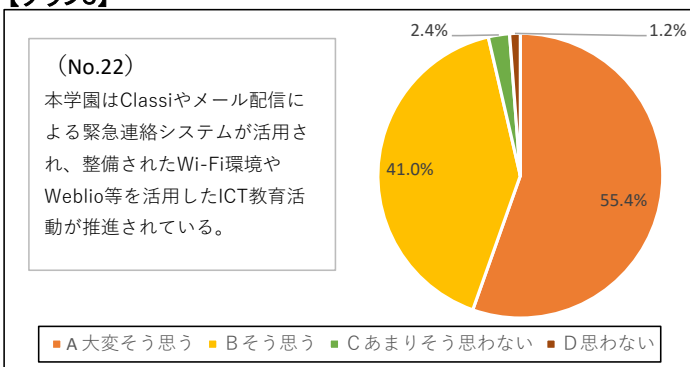
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	16.9%	66.3%	14.5%	2.4%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.6%	68.7%	20.5%	1.2%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	28.9%	59.0%	10.8%	1.2%	1.3
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	33.7%	51.8%	12.0%	2.4%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	59.0%	38.6%	0.0%	2.4%	2.1
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	47.0%	48.2%	4.8%	0.0%	1.8
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	38.6%	51.8%	6.0%	3.6%	1.5



C その他

【グラフC】

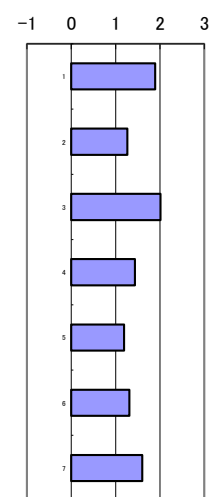


【分析・考察】

○緊急時の連絡がきちんとなされていることや、OWNPCが使えるwi-fi環境などの優れた学校環境の中で学校生活を送らせたいという保護者の思いが表れていると思う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策への理解も得られているように思う。(C-22)
 ○生徒との面談や日頃の学習を通じて個に応じた指導を進めているが、保護者が思うような成績にたどり着いていないと感じているものと思う。少人数での指導をすれば劇的に伸びるのではないかと期待の表れかもしれない。(C-24)
 ○日頃から個に応じた指導を繰り返していることを保護者から見えるようにする手立てが必要と思うが、なかなか難しい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	51.8%	41.0%	7.2%	0.0%	1.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	26.5%	65.1%	3.6%	4.8%	1.3
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	55.4%	41.0%	2.4%	1.2%	2.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	33.7%	54.2%	12.0%	0.0%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	27.7%	59.0%	8.4%	4.8%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	27.7%	62.7%	7.2%	2.4%	1.3
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	43.4%	48.2%	3.6%	4.8%	1.6



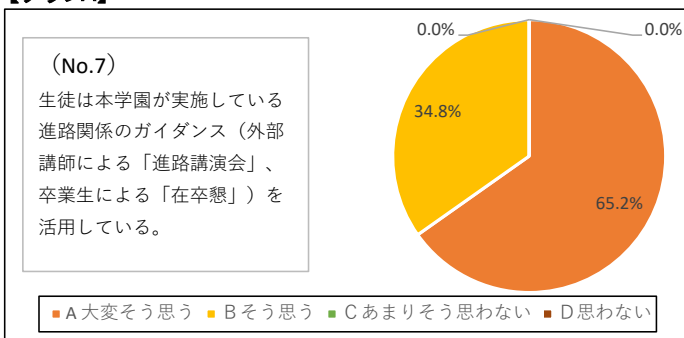
調査結果と考察

1 秀光中学校

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

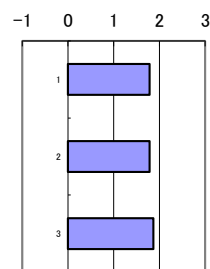
【分析・考察】

○年々、在卒懇の講師として招聘している卒業生の話題が、在校生の学びに直結する内容となってきた。特に今回は人選も良く、自分自身の経験をもとにした話題で、在校生からも大変好評であった。(A-7)
 ○次回以降も、人選だけでなく、話題についても具体的に依頼することで、更に興味を引ける内容にしていきたい。
 ○長期休業中には予備校や塾の講習を予定している生徒も増えてきており、学校の講習を休む生徒がいる。また、各種の調査結果を生かし切れていない。
 ○今後も、日頃の指導や個別の面談等を通じて、生徒や保護者の思いを受け止め、個々の生徒が更に意欲的に学習活動に取り組めるよう対策を講じていきたい。

【表A】

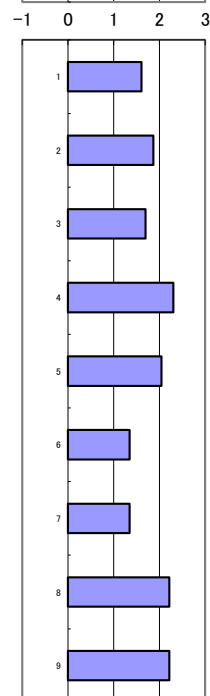
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	43.5%	52.2%	4.3%	0.0%	1.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9



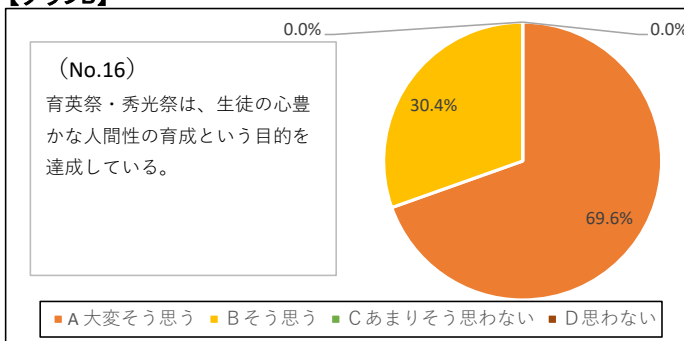
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	34.8%	60.9%	4.3%	0.0%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	2.3
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

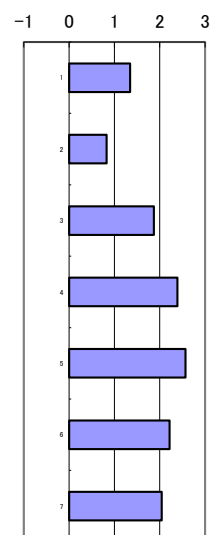


【分析・考察】

○今回の秀光祭は対面で実施できたことが生徒たちの意欲を高め、発表内容についても充実した内容であった。生徒たちの生き生きとした活動の様子が印象的であった。また、発表方法にも様々な工夫がなされ、一人一人の生徒が充実した学習活動を行ってきた様子がわかった。IB関連の発表も多く、内容的にも充実していた。(B-16)
 ○秀光では日頃の学校生活において、服装や持ち物、生活態度などを学級・学年で厳しく指導しているが、学園全体としては限界があり徹底しているとは思えない状況が見受けられる。(B-14)
 ○今後とも秀光生としての自覚と責任をもたせる指導に力を入れ継続させていきたい。

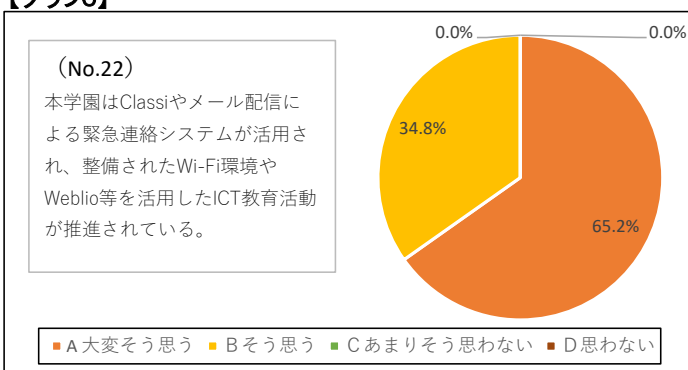
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	21.7%	52.2%	21.7%	4.3%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	69.6%	30.4%	0.0%	0.0%	2.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	2.0



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

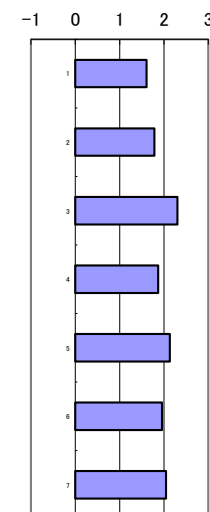
○新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環としてのオンライン授業がきちんと実施できる環境になっているので、授業進度を遅らせることなく指導を継続できることはことは大変良い。また、全教員にPCを配布していることで、常にオンラインで連絡をとれる状況になっていることも教育活動を停滞させないために大変役立っている。(C-22)

○特別教室によっては移動距離があり、トイレに行くために遅れて入室せざるを得ない場合が多い。結果として授業の開始が遅れることがある。食堂の満足度は高いようである。(C-20)

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策は今後も継続していきたい。同時に、オンライン授業の指導内容についても各教科ごとに工夫を重ねていきたい。(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	43.5%	43.5%	13.0%	0.0%	1.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	2.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	1.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	2.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	2.0



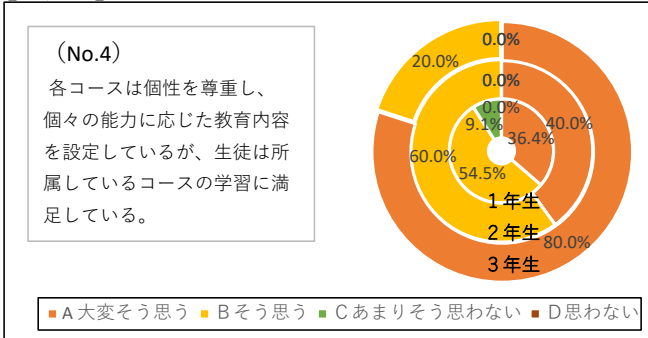
調査結果と考察

1 秀光コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関する事

【グラフA】



【表A】

I 授業について

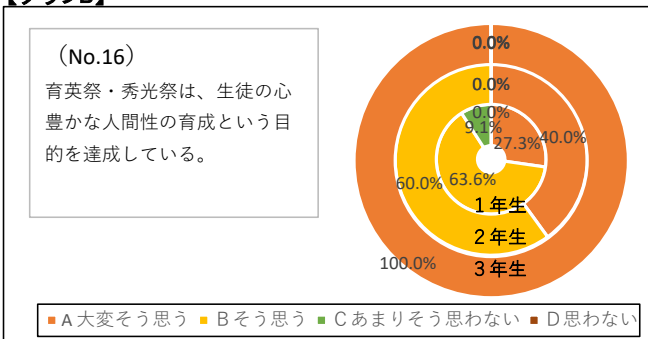
No.	設 問		A	B	C	D	評価値	-1 0 1 2 3
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1 年生	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	1.2	1
		2 年生	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	1.7	2
		3 年生	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0	3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1 年生	9.1%	81.8%	9.1%	0.0%	1.0	4
		2 年生	50.0%	33.3%	16.7%	0.0%	1.7	5
		3 年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1 年生	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4	7
		2 年生	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	1.4	8
		3 年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6	9

II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	-1 0 1 2 3
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1 年生	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	1.5	1
		2 年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8	2
		3 年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6	3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1 年生	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	1.5	4
		2 年生	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	1.4	5
		3 年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6	6
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1 年生	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	1.5	7
		2 年生	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%	1.0	8
		3 年生	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	1.8	9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1 年生	27.3%	36.4%	27.3%	9.1%	0.6	10
		2 年生	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	1.4	11
		3 年生	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	1.8	12
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1 年生	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7	13
		2 年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8	14
		3 年生	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	1.8	15
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1 年生	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%	1.0	16
		2 年生	0.0%	80.0%	0.0%	20.0%	0.2	17
		3 年生	40.0%	20.0%	40.0%	0.0%	1.0	18
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1 年生	18.2%	72.7%	0.0%	9.1%	1.0	19
		2 年生	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	1.4	20
		3 年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	21
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1 年生	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9	22
		2 年生	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	1.0	23
		3 年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6	24
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1 年生	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	1.4	25
		2 年生	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.6	26
		3 年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2	27

B 心豊かな人間性の育成に関する事

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○大学受験に向けて進路選択が現実的なものになると、自分の特性や希望に合った教科を選択するようになって初めてより積極的な学習に取り組めるようになる。きめ細かく面談を繰り返して進路選択の助言をしていることが、特に3学年での結果に表れているものと思う。(A-4)

○特に2学年で課外活動や面談でポイントが低いことが気になるので、原因となるものが何かを探り対応していきたい。

(A-9)

○秀光コースを選択して進学したことから、学習や進路に関して全体的に意識が高いが、更に適切な刺激を与えられるように分析して対策を考えていきたい。

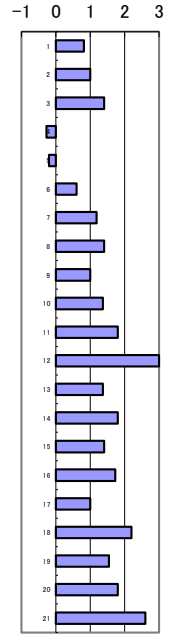
【分析・考察】

○秀光祭は互いの努力にエールを送る結果と思う。それぞれの学年が少ない時間の中で、懸命に発表に向けて準備を重ね、当日の発表においても素晴らしい成果を上げたことへの評価と思う。また、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のためにオンライン授業を取り入れて平常と同様に授業を進めることができたことも好意的に受け止められている。(B-16)

○表B-14のゼロディフェクトについて、秀光コースの生徒たちは日頃からきちんとした学校生活を送っている。評価がマイナスになっている要因は、評価対象を学園全体として捉えて、秀光コースを基準にした結果と考える。生徒の課題意識を大切にしながら指導継続すると共に、設問についても検討を加えていきたい。(B-14)

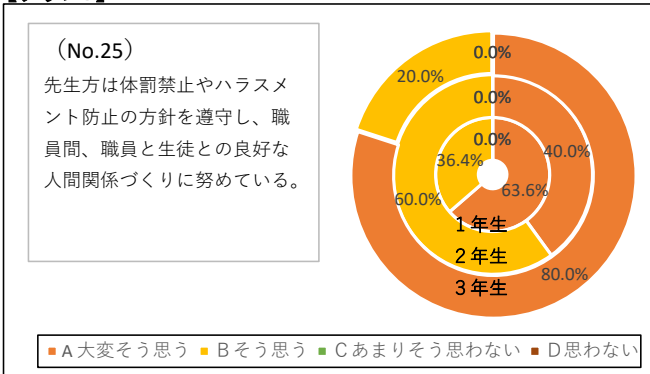
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	18.2%	63.6%	9.1%	9.1%	0.8
		2年生	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	1.0
		3年生	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	0.0%	54.5%	27.3%	18.2%	-0.3
		2年生	0.0%	60.0%	20.0%	20.0%	-0.2
		3年生	40.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	9.1%	90.9%	0.0%	0.0%	1.2
		2年生	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	1.4
		3年生	20.0%	60.0%	20.0%	0.0%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	1.4
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	1.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	54.5%	36.4%	0.0%	9.1%	1.7
		2年生	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	1.0
		3年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	36.4%	54.5%	9.1%	0.0%	1.5
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6



C その他

【グラフC】

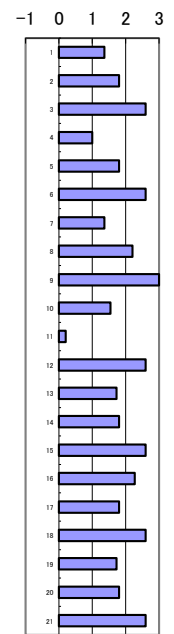


【分析・考察】

○教員と生徒との人間関係が良好であることを示しており、生徒たちが安心して学校生活に取り組んでいることの表れと思う。教員間の人間関係も含め、アットホーム的な環境が秀光の中にある。(C-25)
○秀光コースに進んだときの自分の目標と現実との開きを感じたための自己反省ととらえることができる。今後の支援が大切と考える。(C-23)
○全体的には高い評価であるが、特にNo.23については早期の対策が必要と思う。

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	1.4
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	27.3%	54.5%	9.1%	9.1%	1.0
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	36.4%	54.5%	0.0%	9.1%	1.4
		2年生	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
		3年生	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	27.3%	72.7%	0.0%	0.0%	1.5
		2年生	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.2
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	63.6%	36.4%	0.0%	0.0%	2.3
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7
		2年生	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	1.8
		3年生	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6



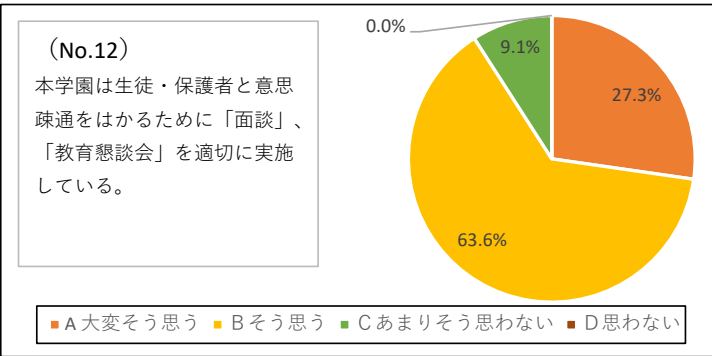
調査結果と考察

1 秀光コース

(2)保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

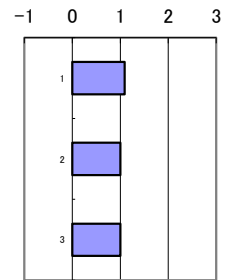
【分析・考察】

○日頃の学習や進路に向けて個に応じて面談を繰り返していることが評価されたものと思うが、不十分さを感じてると捉えられている面もあることから、具体的な考察と対策が必要である。
(A-12)
○課外活動の学習効果に疑問が投げかけられているように思う。進路目標を達成するために、長期休業では塾や予備校などの講習を受ける生徒もいる。(A-9)
○IBに取り組む秀光コースにとって、どのような内容の課外活動や長期休業中の講習などが必要なのかを再検討し、その必要性を保護者にアピールしていきたい。

【表A】

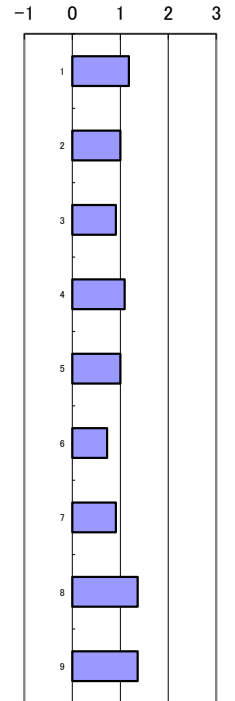
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	13.6%	77.3%	9.1%	0.0%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	13.6%	72.7%	13.6%	0.0%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	13.6%	72.7%	13.6%	0.0%	1.0



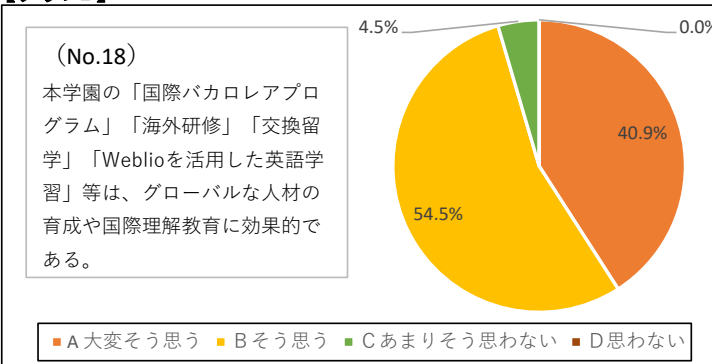
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	22.7%	63.6%	13.6%	0.0%	1.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	22.7%	54.5%	22.7%	0.0%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	22.7%	54.5%	18.2%	4.5%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	22.7%	63.6%	9.1%	4.5%	1.1
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	18.2%	63.6%	18.2%	0.0%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	18.2%	54.5%	22.7%	4.5%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	13.6%	68.2%	18.2%	0.0%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	31.8%	54.5%	13.6%	0.0%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	27.3%	63.6%	9.1%	0.0%	1.4



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

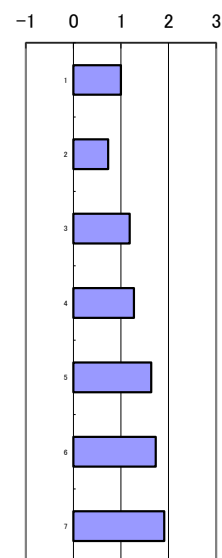


【分析・考察】

○IBに取り組む秀光コースの学習への理解が深まっているように思う。(B-18)
○ゼロディフェクトへの取り組みについて、保護者は不十分さを感じている。(B-14)
○日頃の学校生活や学習活動の様子を保護者にもっと知らせる手立てを講じて、理解を深めてもらえるようにしたい。

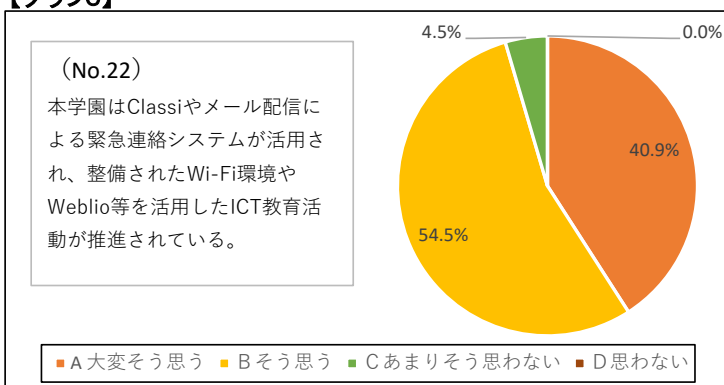
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.6%	72.7%	13.6%	0.0%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	9.1%	68.2%	22.7%	0.0%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	18.2%	72.7%	9.1%	0.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	22.7%	68.2%	9.1%	0.0%	1.3
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	31.8%	68.2%	0.0%	0.0%	1.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	45.5%	54.5%	0.0%	0.0%	1.9



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

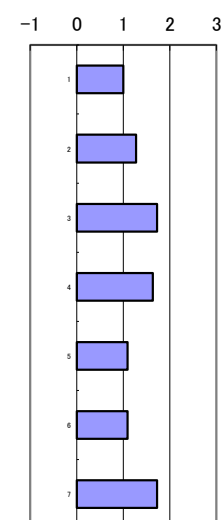
○新型コロナウイルス感染拡大防止だけでなく、天候不良などでも、緊急連絡があることが保護者にとっては安心材料になっている。(C-22)

○入学した生徒の進路目標を達成させられるように細かな対応に努めているが、保護者からは更に個に応じた指導を期待されている。(C-24)

○面談を繰り返して個に応じた指導に努めていることを保護者にきちんと伝える工夫が必要である。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	18.2%	68.2%	9.1%	4.5%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	18.2%	77.3%	4.5%	0.0%	1.3
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	40.9%	54.5%	4.5%	0.0%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	45.5%	40.9%	13.6%	0.0%	1.6
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	22.7%	59.1%	18.2%	0.0%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	27.3%	54.5%	13.6%	4.5%	1.1
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	36.4%	63.6%	0.0%	0.0%	1.7



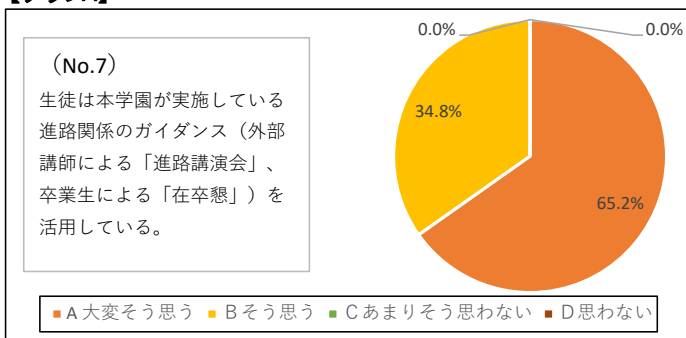
調査結果と考察

1 秀光コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○年々、在卒懇の講師として招聘している卒業生の話題が、在校生の学びに直結する内容となってきた。特に今回は人選も良く、自分自身の経験をもとにした話題で、在校生からも大変好評であった。

次回以降も、人選だけでなく、話題についても具体的に依頼することで、更に興味を引ける内容にしていきたい。(A-7)

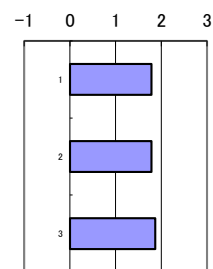
○長期休業中には予備校や塾の講習を予定している生徒も増えてきており、学校の講習を休む生徒がいる。また、各種の調査結果を生かし切れていない。(A-9)

○今後も、日頃の指導や個別の面談等を通じて、生徒や保護者の思いを受け止め、個々の生徒が更に意欲的に学習活動に取り組めるよう対策を講じていきたい。

【表A】

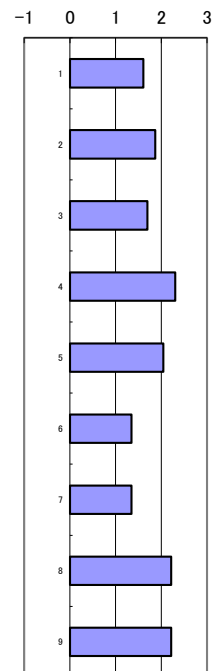
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	43.5%	52.2%	4.3%	0.0%	1.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9



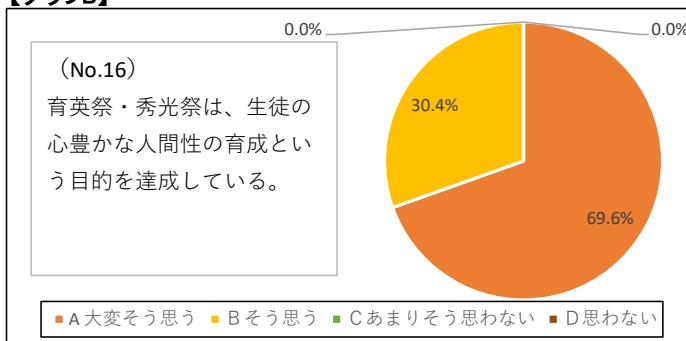
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	34.8%	60.9%	4.3%	0.0%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	2.3
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	52.2%	47.8%	0.0%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



【分析・考察】

○今回の秀光祭は対面で実施できたことが生徒たちの意欲を高め、発表内容についても充実した内容であった。生徒たちの生き生きとした活動の様子が印象的であった。また、発表方法にも様々な工夫がなされ、一人一人の生徒が充実した学習活動を行ってきた様子がわかった。IB関連の発表も多く内容的にも充実していた。

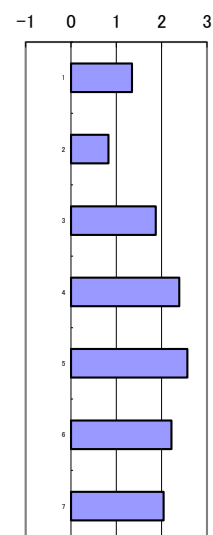
(B-16)

○秀光では日頃の学校生活において、服装や持ち物、生活態度などを学級・学年で厳しく指導しているが、学園全体としては限界があり徹底しているとは思えない状況が見受けられる。(B-14)

○今後とも秀光生としての自覚と責任をもたせる指導に力を入れ継続させていきたい。

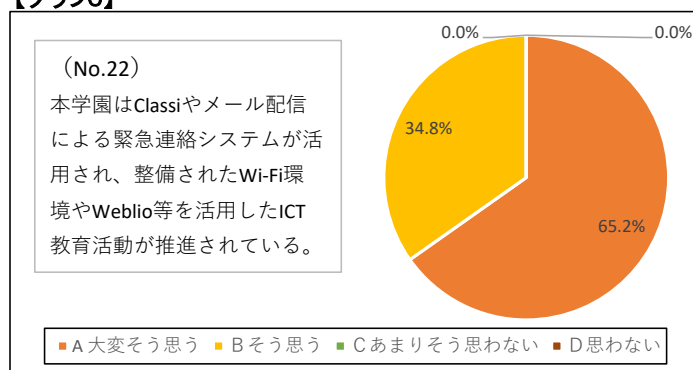
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	21.7%	52.2%	21.7%	4.3%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	69.6%	30.4%	0.0%	0.0%	2.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	2.0



C その他

【グラフC】

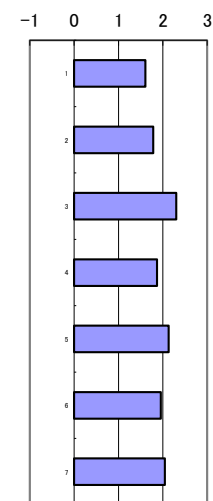


【分析・考察】

○新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環としてのオンライン授業がきちんと実施できる環境になっているので、授業進度を遅らせることなく指導を継続できることはことは大変良い。また、全教員にPCを配布していることで、常にオンラインで連絡をとれる状況になっていることも教育活動を停滞させないために大変役立っている。(C-22)
 ○特別教室によっては移動距離があり、トイレに行くために遅れて入室せざるを得ない場合が多い。結果として授業の開始が遅れることがある。食堂の満足度は高いようである。(C-20)
 ○新型コロナウイルス感染拡大防止対策は今後も継続していきたい。同時に、オンライン授業の指導内容についても各教科ごとに工夫を重ねていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	43.5%	43.5%	13.0%	0.0%	1.6
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	2.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	1.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	2.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	47.8%	52.2%	0.0%	0.0%	2.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	56.5%	39.1%	4.3%	0.0%	2.0



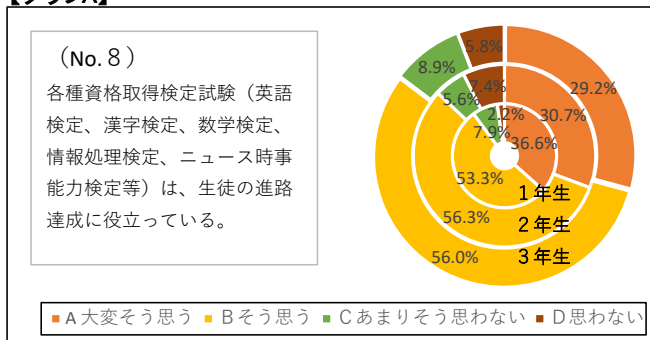
調査結果と考察

2 特別進学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○No.8(グラフA)の項目について、肯定的な意見の合計が87.4%と、高い評価を得ている。特別進学コースでは、授業などさまざまな場面を捉えて英語検定をはじめとする資格取得の必要性を説いているが、そのことがこの高い評価結果につながっているものと思われる。今後とも機会を捉えて生徒たちに教員の思いを伝える姿勢を堅持し、生徒の満足度をさらに高めていきたい。(A-8)

○No.11の項目についても、肯定的な意見の合計が86.3%となっている。生徒の個性を大切にしながら、生徒にとって最も望ましい将来像を共に考えようとする教員の情熱が、生徒たちに理解されているものと考えられる。しかし、2年生で肯定的な数値が若干下がっているため、中堅となる2年生への働きかけを今後強めていく必要がある。(A-11)

【表A】

I 授業について

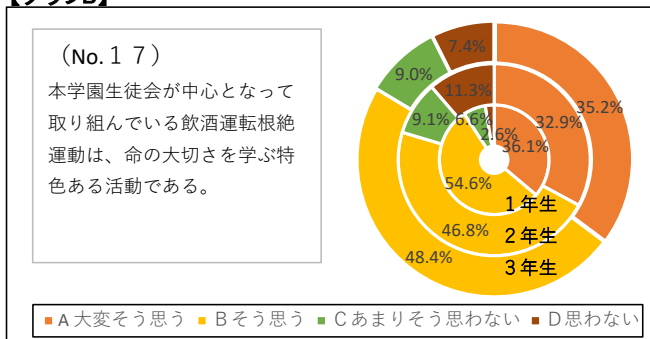
No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生 24.7%	60.4%	11.5%	3.5%	1.1
		2年生 15.2%	49.4%	23.4%	12.1%	0.4
		3年生 15.6%	49.4%	22.6%	12.5%	0.4
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生 22.0%	56.4%	19.4%	2.2%	1.0
		2年生 14.3%	41.1%	30.7%	13.9%	0.1
		3年生 12.1%	50.2%	24.5%	13.2%	0.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生 29.6%	54.4%	12.8%	3.1%	1.2
		2年生 18.6%	49.4%	18.2%	13.9%	0.5
		3年生 16.7%	55.6%	16.7%	10.9%	0.6

II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生 22.0%	60.8%	11.5%	5.7%	1.0
		2年生 17.3%	42.0%	23.8%	16.9%	0.2
		3年生 12.5%	49.8%	23.7%	14.0%	0.2
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生 22.4%	62.0%	12.7%	2.9%	1.1
		2年生 15.2%	53.7%	18.6%	12.6%	0.4
		3年生 13.6%	53.7%	21.8%	10.9%	0.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生 20.4%	60.2%	15.0%	4.4%	0.9
		2年生 17.3%	47.6%	19.9%	15.2%	0.3
		3年生 10.9%	53.7%	25.3%	10.1%	0.3
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生 14.6%	50.9%	27.0%	7.5%	0.5
		2年生 12.1%	38.5%	30.7%	18.6%	-0.1
		3年生 16.0%	54.1%	19.5%	10.5%	0.5
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生 36.6%	53.3%	7.9%	2.2%	1.5
		2年生 30.7%	56.3%	5.6%	7.4%	1.2
		3年生 29.2%	56.0%	8.9%	5.8%	1.2
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生 19.9%	57.1%	17.3%	5.8%	0.8
		2年生 13.4%	39.8%	24.7%	22.1%	-0.1
		3年生 14.0%	48.2%	21.0%	16.7%	0.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生 30.8%	57.7%	9.7%	1.8%	1.4
		2年生 20.8%	54.5%	14.3%	10.4%	0.7
		3年生 18.7%	54.5%	18.3%	8.6%	0.7
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生 25.7%	64.2%	8.0%	2.2%	1.3
		2年生 21.6%	58.4%	10.0%	10.0%	0.8
		3年生 30.7%	58.0%	6.2%	5.1%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生 22.6%	61.5%	13.7%	2.2%	1.1
		2年生 17.3%	61.0%	13.0%	8.7%	0.7
		3年生 16.0%	63.4%	14.0%	6.6%	0.8

B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



【分析・考察】

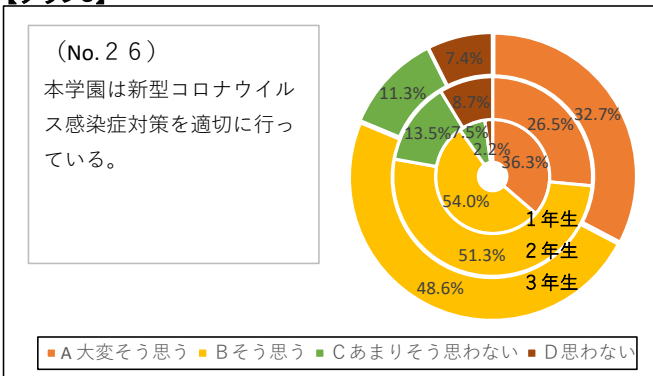
○No.17(グラフB)の項目について、肯定的な意見の合計が84.7%となり、生徒たちのこの活動についての評価は高い。無謀な飲酒運転事故により、本校生3名の尊い命が奪われた事故発生日となる5月22日に、多賀城校舎で全コースの1年生が毎年追悼行事を行っているが、そうした活動を通してこの問題について、生徒たちが考察を深めていることが分かる(このことは1年生の肯定的な意見が91%と高いことから分かる)。今後ともこうした行事を継続し、生徒たちの心を育てる活動を大切にしていきたい。(B-17)

【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	25.2%	58.8%	9.3%	6.6%	1.1	
		2年生	14.7%	40.7%	27.7%	16.9%	0.1	
		3年生	12.8%	47.1%	27.6%	12.5%	0.2	
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	12.4%	50.9%	26.5%	10.2%	0.3	
		2年生	12.6%	39.4%	26.0%	22.1%	-0.2	
		3年生	8.6%	43.2%	28.0%	20.2%	-0.2	
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	23.5%	57.5%	13.3%	5.8%	1.0	
		2年生	17.0%	53.0%	16.5%	13.5%	0.5	
		3年生	14.8%	53.3%	17.5%	14.4%	0.4	
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	24.3%	46.5%	22.1%	7.1%	0.8	
		2年生	15.6%	41.6%	19.0%	23.8%	0.0	
		3年生	11.3%	43.4%	21.1%	24.2%	-0.2	
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	36.1%	54.6%	6.6%	2.6%	1.5	
		2年生	32.9%	46.8%	9.1%	11.3%	1.0	
		3年生	35.2%	48.4%	9.0%	7.4%	1.2	
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	32.3%	56.2%	8.0%	3.5%	1.3	
		2年生	22.2%	53.9%	12.2%	11.7%	0.7	
		3年生	23.3%	52.9%	12.5%	11.3%	0.8	
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	37.0%	52.0%	8.4%	2.6%	1.5	
		2年生	28.1%	52.8%	8.2%	10.8%	1.0	
		3年生	33.9%	48.6%	10.1%	7.4%	1.2	

C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○No.26(グラフC)の項目について、肯定的な意見の合計が83.2%、同じ新型コロナウイルスに関するNo.19についても、肯定的な意見が84.3%となり、新型コロナウイルス対策についての生徒の意識が高いことが分かる。

本学園では、朝の検温や陽性者が出た場合の迅速な消毒作業など、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しているが、そうした活動が生徒たちから高い評価を得たことは誇らしい。今後ともこれに満足することなく、よりの確な感染症対策を練っていききたい。(C-26)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	34.1%	48.7%	12.8%	4.4%	1.3	
		2年生	28.1%	45.9%	12.6%	13.4%	0.8	
		3年生	30.4%	47.9%	13.2%	8.6%	1.0	
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	19.1%	60.4%	16.0%	4.4%	0.9	
		2年生	20.3%	51.5%	13.9%	14.3%	0.6	
		3年生	18.7%	54.1%	19.1%	8.2%	0.7	
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	38.8%	53.3%	5.3%	2.6%	1.6	
		2年生	26.8%	53.7%	10.8%	8.7%	1.0	
		3年生	32.3%	49.4%	11.7%	6.6%	1.1	
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	23.0%	61.5%	11.9%	3.5%	1.1	
		2年生	18.2%	57.6%	14.3%	10.0%	0.7	
		3年生	21.1%	60.9%	10.2%	7.8%	0.9	
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	23.5%	56.6%	15.0%	4.9%	1.0	
		2年生	16.1%	50.0%	20.9%	13.0%	0.4	
		3年生	19.5%	56.4%	17.5%	6.6%	0.8	
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	28.6%	59.9%	9.7%	1.8%	1.3	
		2年生	24.8%	56.1%	9.1%	10.0%	0.9	
		3年生	23.0%	56.4%	12.8%	7.8%	0.9	
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	36.3%	54.0%	7.5%	2.2%	1.5	
		2年生	26.5%	51.3%	13.5%	8.7%	0.9	
		3年生	32.7%	48.6%	11.3%	7.4%	1.1	

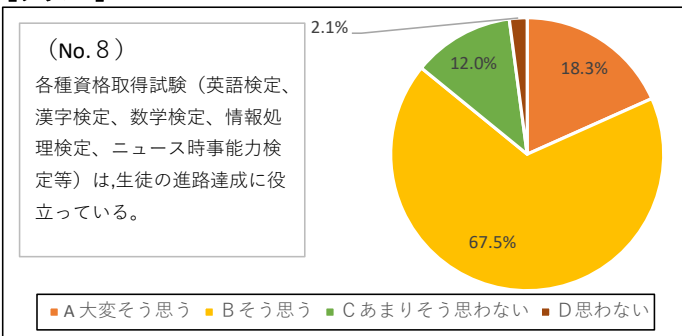
調査結果と考察

2 特別進学コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

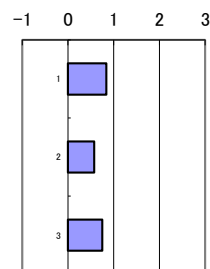
【分析・考察】

○生徒と同様、No.8(グラフA)の項目について、肯定的な意見の合計が85.8%となり、高い評価を得ている。特別進学コースでは、多くの機会をとらえて英語検定をはじめとする資格取得の必要性を説いているが、それが生徒たちを通じて保護者にもしっかりと伝わっていることが分かる。(A-8)
○No.7の項目については、肯定的な意見が61.7%と必ずしも高くはない。今後、生徒たちが何を求めているのか、生徒たちに何を伝えたいのかの観点から、講師の選択を含めた講演会の内容等について検討を加えて改善していきたい。(A-7)

【表A】

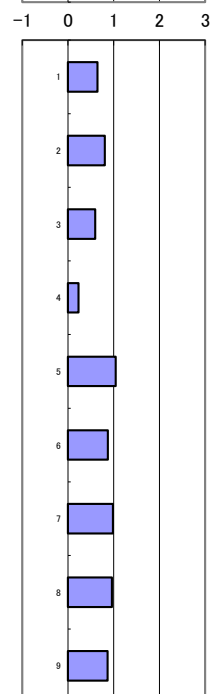
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	13.7%	66.5%	17.7%	2.1%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.1%	63.7%	24.0%	3.2%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	11.1%	67.7%	18.9%	2.3%	0.8



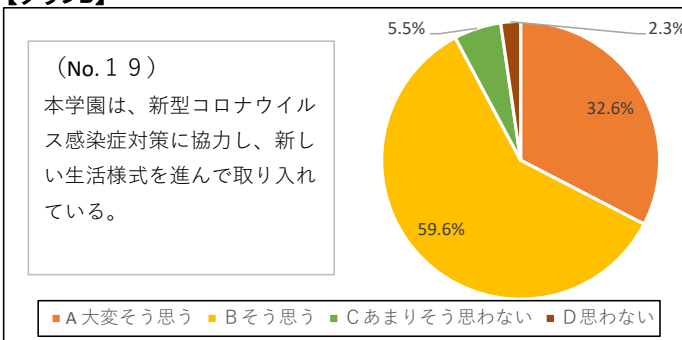
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	12.1%	61.2%	23.6%	3.2%	0.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	12.3%	68.3%	16.7%	2.6%	0.8
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.1%	62.9%	23.9%	3.2%	0.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	8.3%	53.3%	30.2%	8.3%	0.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	18.3%	67.5%	12.0%	2.1%	1.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	18.5%	59.8%	18.5%	3.2%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	15.8%	69.7%	12.4%	2.1%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	18.2%	64.2%	14.9%	2.7%	1.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	11.9%	72.2%	13.3%	2.7%	0.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



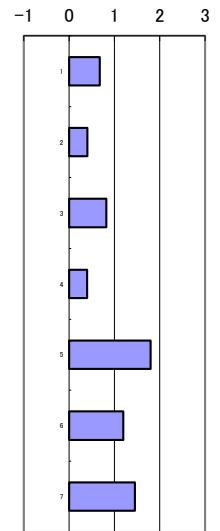
【分析・考察】

○No.17についても、生徒と同じように肯定的な意見の合計が95.1%と高い。さらに内容が異なるもののNo.19(グラフB)についても、肯定的な意見の合計が92.3%と高くなっている。本学園で毎年行っている追悼行事や新型コロナウイルス感染症対策についての説明が、生徒を通して保護者にもきちんと伝わり、その趣旨を十分に理解していただいていることがよく分かる。

こうした地道な活動が保護者の学校への評価に繋がることを踏まえ、他の学校行事等に関してもその趣旨を検討し改善していきたい。(B-19)

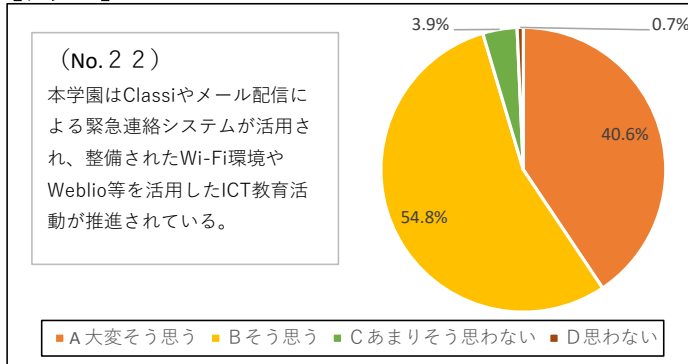
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	10.3%	65.7%	21.5%	2.5%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	5.5%	63.5%	26.7%	4.3%	0.4
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	11.7%	70.5%	15.1%	2.7%	0.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	9.4%	57.0%	27.7%	5.9%	0.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	45.9%	49.1%	3.9%	1.1%	1.8
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	20.7%	69.3%	9.0%	0.9%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	32.6%	59.6%	5.5%	2.3%	1.5



C その他

【グラフC】



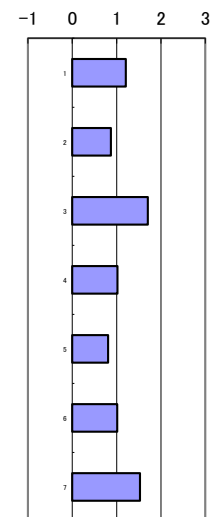
【分析・考察】

○No.22(グラフC)について、肯定的な意見の合計が95.4%と高い評価を得ている。本学園では、新型コロナウイルス感染症対策としてのオンライン授業や自然災害に対する臨時休校等を実施する場合、緊急連絡システムを活用して迅速な情報提供を行っている。それ以外にも学年や学級単位でもさまざまな場面で保護者への情報提供を行っていることが、この肯定的な意見の高さにつながっている。特にClassiに関しては、授業等での連絡など緊急連絡以外にも活用される場面が増えてきている。

今年度より利用を始めたSlack等、さまざまな連絡方法を活用しながら、生徒や保護者への連絡、情報提供の充実を図っていきたい。(C-22)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	28.0%	57.6%	11.2%	3.2%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	10.3%	74.9%	13.0%	1.8%	0.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	40.6%	54.8%	3.9%	0.7%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	21.8%	59.8%	16.1%	2.3%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	13.7%	65.4%	18.4%	2.5%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	13.4%	75.5%	9.5%	1.6%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	34.7%	58.9%	4.2%	2.1%	1.5



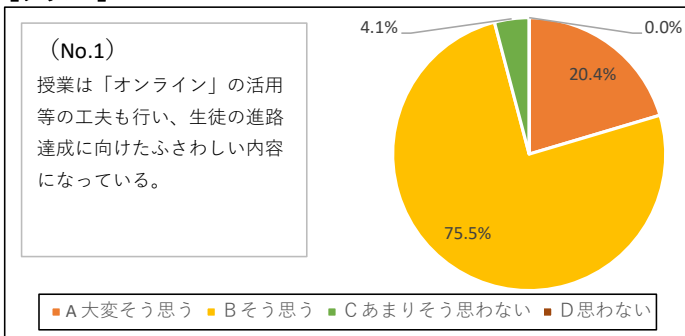
調査結果と考察

2 特別進学コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

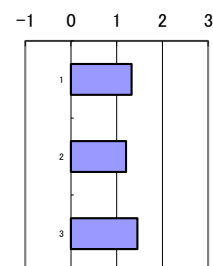
【グラフA】



【表A】

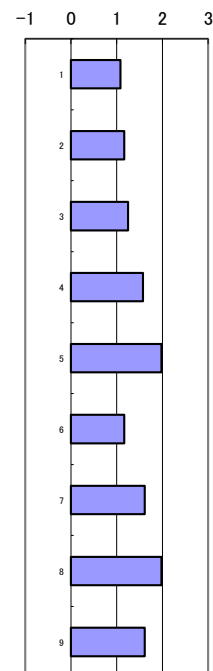
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	20.4%	75.5%	4.1%	0.0%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	16.3%	77.6%	6.1%	0.0%	1.2
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	28.6%	67.3%	2.0%	2.0%	1.5



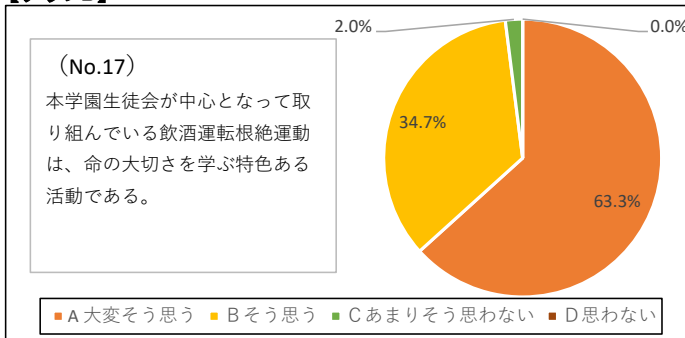
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	12.2%	79.6%	8.2%	0.0%	1.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	18.4%	71.4%	10.2%	0.0%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	18.4%	75.5%	6.1%	0.0%	1.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	32.7%	63.3%	4.1%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	53.1%	42.9%	4.1%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	24.5%	61.2%	12.2%	2.0%	1.2
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	36.7%	57.1%	6.1%	0.0%	1.6
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	51.0%	46.9%	2.0%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	34.7%	61.2%	4.1%	0.0%	1.6



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない

評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○No.1(グラフA)及びNo.2、2つの項目について、肯定的な意見の合計は、それぞれ95.8%、93.8%と高い評価となっている。

しかし一方で生徒たちの評価を見ると、それぞれ71.4%と65.5%と必ずしも高くはない。本学園では、各教科がBrushup研修という他の高校では見られないようなスキルアップを目的とした教員研修を、定期的に行っている。今後この乖離の原因が何処にあるかの検討を進め、授業の質向上に向けた努力を行っていききたい。(A-1)

○No.11については、肯定的な意見の合計が97.9%となり、生徒たち同様高い評価をしている。教育に対する教員の強い情熱を生徒たちも十分に感じているので、それを授業改善にどうつなげるか研修内容も含めて、今後検討していき

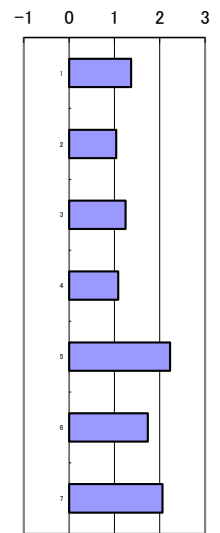
【分析・考察】

○No.17(グラフB)の項目について、肯定的な意見の合計が97.9%と極めて高い。“I-Lionday”として毎年5月22日、多賀城校舎で全コースの1年生を対象に行っている追悼行事の指導を通じ、職員がこの活動の意義を十分に理解していることが分かる。(B-17)

○No.19についても、肯定的な意見が91.7%と高い。日頃から新型コロナウイルス感染症対策の最前線に立ち、生徒たちとともに感染対策を進めながら、こうした対策の必要性を感じていることが分かる。(B-19)

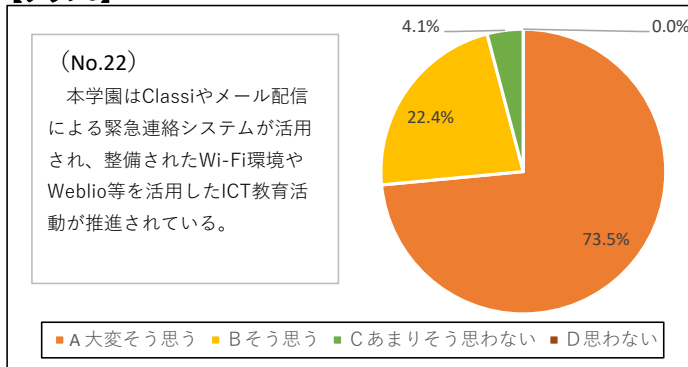
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	26.5%	67.3%	4.1%	2.0%	1.4
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	22.4%	59.2%	16.3%	2.0%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	22.4%	69.4%	6.1%	2.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	16.3%	71.4%	12.2%	0.0%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	63.3%	34.7%	2.0%	0.0%	2.2
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	44.9%	46.9%	8.2%	0.0%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	65.3%	26.5%	4.1%	4.1%	2.1



C その他

【グラフC】

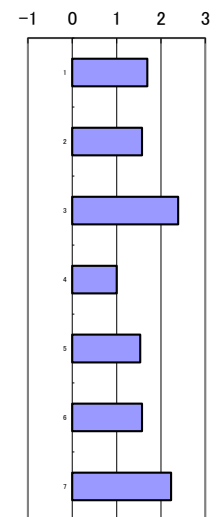


【分析・考察】

○No.22(グラフC)の項目について、肯定的な意見の合計が95.8%と高い。日常的に生徒たちとClassiやSlack等を使っての意思疎通を行い、その有効性を感じていることが、この評価の高さにつながっている。
教員のこうしたツールの有効性への強い思いが、生徒や保護者のNo.1やNo.2についての評価向上につながるよう、今後Brushuup研修などで具体的な検討進め、オンライン授業や情報発信の質的改善を図っていきたい。(C-22)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	44.9%	44.9%	10.2%	0.0%	1.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	36.7%	55.1%	8.2%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	73.5%	22.4%	4.1%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	8.2%	83.7%	8.2%	0.0%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	32.7%	61.2%	6.1%	0.0%	1.5
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	34.7%	59.2%	6.1%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	69.4%	24.5%	4.1%	2.0%	2.2



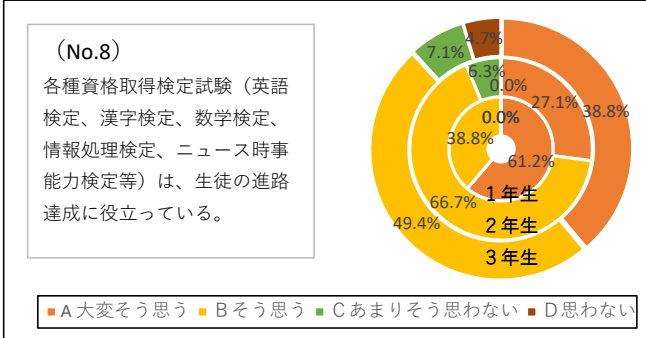
調査結果と考察

3 外国語コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○外国語コースの特色を活かした語学検定取得の取り組みが、進路達成に役立つと全学年で高く評価されている。(項目9)の評価も高く、今後もコースの特色ある教育活動・取り組みについて、なお成果・パフォーマンス向上を目指したい。(A-8)

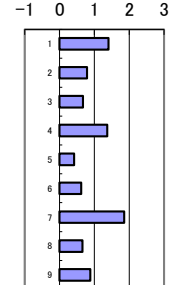
○コロナ対策下で、コミュニケーション重視の授業、国際交流イベント、海外研修や留学の実施が制限される状況が続いた。今後も生徒の学習意欲、能力を高められる学習機会、課外講習の実施を図り、学力・進路実績の向上につなげたい。

○外国語多言語教育と国際理解教育、国際バカロレアIBDPなどの特色ある教育内容の充実と、生徒一人一人の資質・学力の向上、満足度の一致を図っていきたい。

【表A】

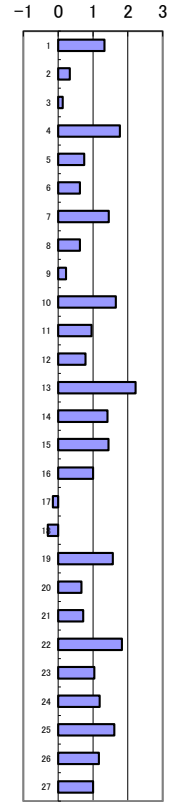
I 授業について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	36.7%	53.1%	4.1%	6.1%	1.4
		2年生	18.8%	58.3%	16.7%	6.3%	0.8
		3年生	17.6%	54.1%	22.4%	5.9%	0.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	34.7%	49.0%	16.3%	0.0%	1.4
		2年生	12.5%	47.9%	37.5%	2.1%	0.4
		3年生	20.0%	50.6%	20.0%	9.4%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	49.0%	44.9%	6.1%	0.0%	1.9
		2年生	12.8%	61.7%	21.3%	4.3%	0.7
		3年生	23.5%	55.3%	12.9%	8.2%	0.9



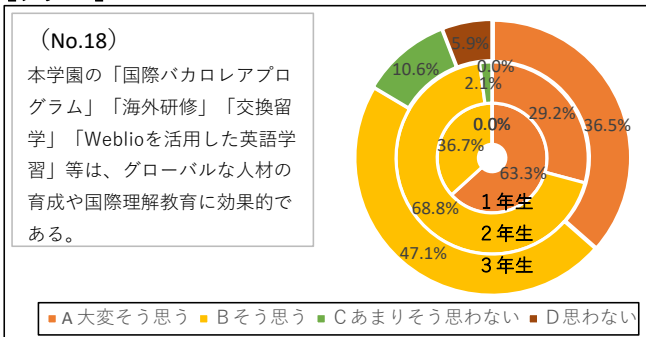
II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	34.7%	49.0%	14.3%	2.0%	1.3
		2年生	12.5%	56.3%	16.7%	14.6%	0.3
		3年生	17.6%	35.3%	32.9%	14.1%	0.1
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	46.9%	44.9%	8.2%	0.0%	1.8
		2年生	12.5%	66.7%	16.7%	4.2%	0.8
		3年生	17.6%	56.5%	15.3%	10.6%	0.6
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	38.8%	46.9%	12.2%	2.0%	1.4
		2年生	12.5%	60.4%	22.9%	4.2%	0.6
		3年生	17.6%	41.2%	25.9%	15.3%	0.2
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	44.9%	42.9%	12.2%	0.0%	1.7
		2年生	18.8%	62.5%	16.7%	2.1%	1.0
		3年生	20.0%	60.0%	9.4%	10.6%	0.8
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	61.2%	38.8%	0.0%	0.0%	2.2
		2年生	27.1%	66.7%	6.3%	0.0%	1.4
		3年生	38.8%	49.4%	7.1%	4.7%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	28.6%	49.0%	16.3%	6.1%	1.0
		2年生	8.5%	46.8%	23.4%	21.3%	-0.1
		3年生	12.9%	29.4%	37.6%	20.0%	-0.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	38.8%	51.0%	10.2%	0.0%	1.6
		2年生	6.3%	75.0%	14.6%	4.2%	0.7
		3年生	23.5%	42.4%	30.6%	3.5%	0.7
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	45.8%	52.1%	0.0%	2.1%	1.8
		2年生	20.8%	64.6%	10.4%	4.2%	1.0
		3年生	35.3%	47.1%	9.4%	8.2%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	42.9%	46.9%	8.2%	2.0%	1.6
		2年生	20.8%	66.7%	12.5%	0.0%	1.2
		3年生	25.9%	54.1%	14.1%	5.9%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



【分析・考察】

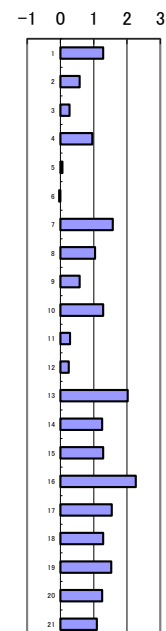
○グローバル人材育成、国際理解教育についての各種取り組みが高評価である。コースならではの教育内容の充実をさらに目指したい。(B-18)

○(項目14)について、「ゼロディフェクト」の取り組みや、日々の学校生活の諸活動が、個々の資質向上や社会性の育成につながることをなお丁寧に指導し、課題解決に向け生徒が主体的に取り組めるような活動を目指したい。(B-14)

○従来のような活動実施が困難な中でも、オンラインの活用などの代替可能な形態を工夫しながら諸活動を継続した生徒たちの努力も評価したい。困難な状況下でこそ「建学の精神」を発揮して、社会貢献できる資質の育成を目指したい。(B-13)

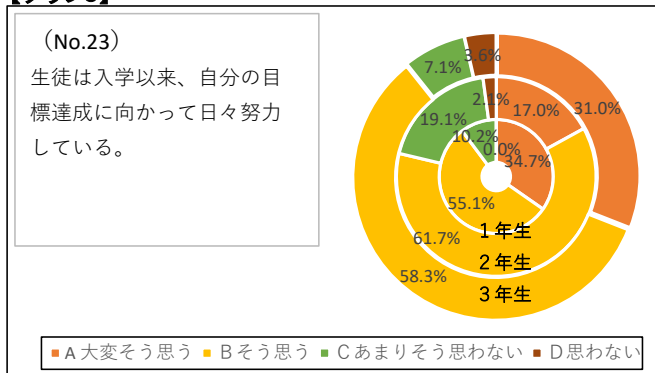
【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	34.7%	46.9%	16.3%	2.0%	1.3
		2年生	14.9%	51.1%	31.9%	2.1%	0.6
		3年生	18.8%	42.4%	22.4%	16.5%	0.3
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	30.6%	44.9%	16.3%	8.2%	1.0
		2年生	6.4%	53.2%	27.7%	12.8%	0.1
		3年生	12.9%	38.8%	31.8%	16.5%	0.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	40.8%	49.0%	8.2%	2.0%	1.6
		2年生	20.8%	62.5%	14.6%	2.1%	1.0
		3年生	27.1%	37.6%	22.4%	12.9%	0.6
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	34.7%	51.0%	8.2%	6.1%	1.3
		2年生	10.4%	56.3%	20.8%	12.5%	0.3
		3年生	23.5%	34.1%	23.5%	18.8%	0.2
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	55.1%	40.8%	4.1%	0.0%	2.0
		2年生	22.9%	66.7%	10.4%	0.0%	1.3
		3年生	27.1%	63.5%	5.9%	3.5%	1.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	63.3%	36.7%	0.0%	0.0%	2.3
		2年生	29.2%	68.8%	2.1%	0.0%	1.5
		3年生	36.5%	47.1%	10.6%	5.9%	1.3
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	46.9%	38.8%	8.2%	6.1%	1.5
		2年生	27.1%	64.6%	2.1%	6.3%	1.3
		3年生	30.6%	50.6%	11.8%	7.1%	1.1



C その他

【グラフC】

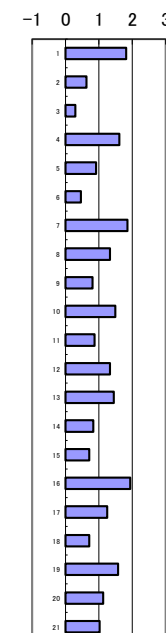


【分析・考察】

○グラフ(C-23)では各学年とも、目標達成に向け日々努力していると生徒自身の評価が高い。同項目の保護者・教員の評価も同様に高かった。各生徒が進路達成に向けて、日々の学校生活に意識的に取り組んでいる結果といえる。(C-23)
 ○学校の施設整備、ハード・ソフト両面について概ね評価されている。緊急連絡システム、Classi、Slackや整備されたICT環境の活用も高評価である。(C-22)
 ○教員の指導、コミュニケーションについても、概ね評価が高いが、今後もなおさらにコミュニケーションを活発化して、生徒・教員間の良好な関係を築いていきたい。(C-25)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	53.1%	36.7%	8.2%	2.0%	1.8
		2年生	8.3%	66.7%	22.9%	2.1%	0.6
		3年生	20.0%	41.2%	22.4%	16.5%	0.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	42.9%	44.9%	12.2%	0.0%	1.6
		2年生	14.6%	66.7%	18.8%	0.0%	0.9
		3年生	21.2%	43.5%	22.4%	12.9%	0.5
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	51.0%	40.8%	8.2%	0.0%	1.9
		2年生	25.0%	66.7%	8.3%	0.0%	1.3
		3年生	25.0%	50.0%	15.5%	9.5%	0.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	34.7%	55.1%	10.2%	0.0%	1.5
		2年生	17.0%	61.7%	19.1%	2.1%	0.9
		3年生	31.0%	58.3%	7.1%	3.6%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	38.8%	49.0%	8.2%	4.1%	1.4
		2年生	12.8%	66.0%	21.3%	0.0%	0.8
		3年生	24.1%	45.8%	21.7%	8.4%	0.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	57.1%	34.7%	6.1%	2.0%	1.9
		2年生	20.8%	70.8%	8.3%	0.0%	1.3
		3年生	21.4%	54.8%	11.9%	11.9%	0.7
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	49.0%	36.7%	8.2%	6.1%	1.6
		2年生	29.2%	54.2%	10.4%	6.3%	1.1
		3年生	27.4%	52.4%	14.3%	6.0%	1.0



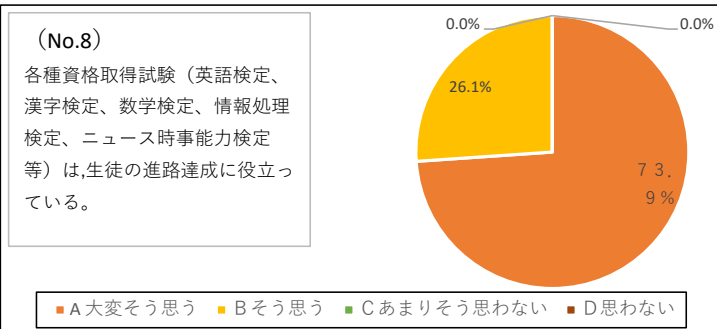
調査結果と考察

3 外国語コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総数)

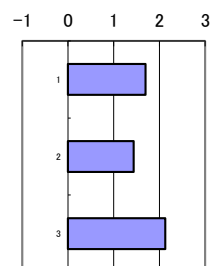
【分析・考察】

○グラフ(A-8) から、コースの特色である語学検定取得の取組みが、コースの目標、進路達成に直結していることが、教員間で共通認識として共有されている。項目(3～5)も同様に高評価であった。(A-8)
 ○課外講習について、外国語コースレギュラークラス・IBDP・留学生に対応する、効果的な内容を検討し、生徒自身が達成感を得られるようなプログラムを実施していきたい。(A-9)
 ○コースの特色である外国語言語教育と国際理解教育、IBDP教育の充実化をさらに図りたい。各学年を中心に、生徒の実態把握に努め、コースの各生徒の資質向上と、進路達成に努めたい。

【表A】

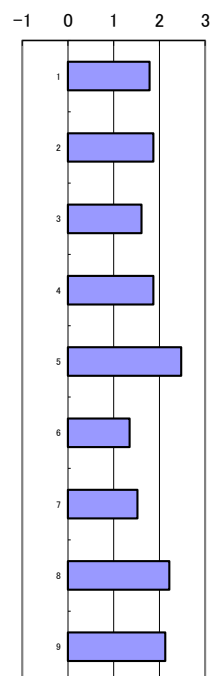
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	43.5%	47.8%	8.7%	0.0%	1.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	34.8%	52.2%	13.0%	0.0%	1.4
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	2.1



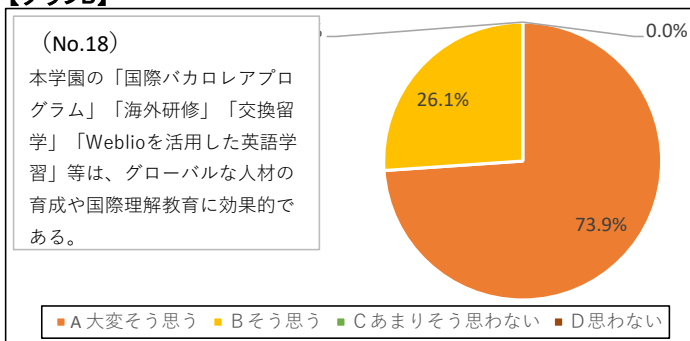
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	30.4%	69.6%	0.0%	0.0%	1.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	47.8%	47.8%	4.3%	0.0%	1.9
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	2.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	26.1%	65.2%	8.7%	0.0%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	34.8%	56.5%	8.7%	0.0%	1.5
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	60.9%	39.1%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	56.5%	43.5%	0.0%	0.0%	2.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

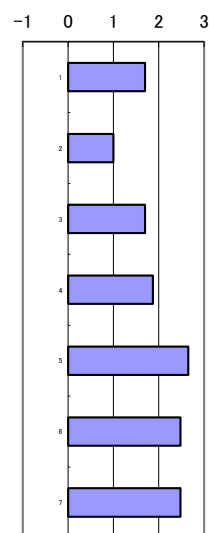


【分析・考察】

○グラフ(B-18)は、コースの特色であるIBDP、海外研修、交換留学等がグローバル人材の育成・国際理解教育に効果的だと高く評価された。コロナ下の制限がある中でも、「Stanford-e Sendaiikuei」などの新しいチャレンジも高評価であった。飲酒運転根絶など社会的意義のある活動・取り組みへの評価も大変高い。(B-18)
 ○項目14「ゼロディフェクト」の取り組みや日々の学校生活・行事を通して、建学の精神・社会課題へ主体的に取り組む姿勢も育成できるよう、目的・意義の共有が必要である。(B-14)
 ○学校生活・行事の様々な機会を通じた個々の資質と社会性の向上、社会に貢献できる人材の育成という目的を共有し、生徒の指導につなげたい。

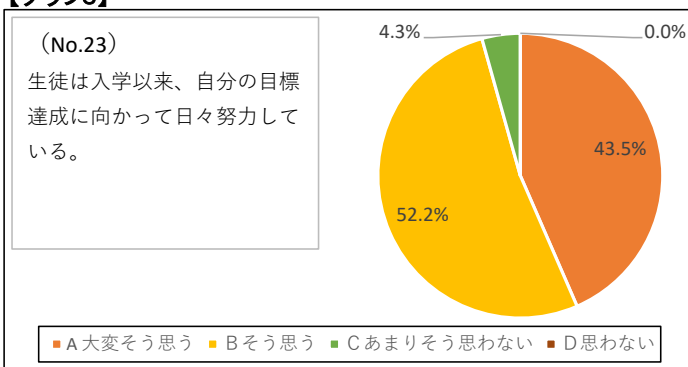
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	26.1%	56.5%	8.7%	8.7%	1.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	39.1%	56.5%	4.3%	0.0%	1.7
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	43.5%	56.5%	0.0%	0.0%	1.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	82.6%	17.4%	0.0%	0.0%	2.7
18	本学園の「国際パカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	2.5
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	73.9%	26.1%	0.0%	0.0%	2.5



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

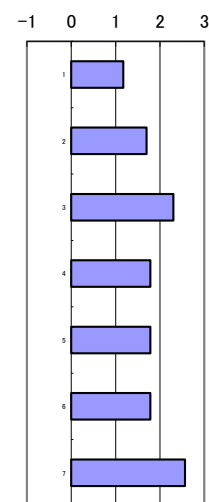
○グラフ(C-23)から、生徒の学校生活について、進路達成に向けて努力していると、生徒・保護者同様に、教員も評価している。生徒は日々の学校生活によく取り組んでいる。(C-23)

○(項目24)生徒の実態把握・指導についても評価が高い。生徒・保護者・教員3者間の良好なコミュニケーションを通して、さらに信頼関係の構築に努めていきたい。また(項目26)にあるように新型コロナウイルス感染症対策に対する教員の意識は非常に高い。今後も適切な対応を継続していきたい。(C-24)

○学校全体のハード・ソフト両面の利点に加え、様々な国籍の生徒・保護者、教員・スタッフが所属する外国語コース・国際部の恵まれた教育環境を、多様化するグローバル社会に求められる資質・能力の育成に活かしていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	26.1%	60.9%	8.7%	4.3%	1.2
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	34.8%	65.2%	0.0%	0.0%	1.7
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	65.2%	34.8%	0.0%	0.0%	2.3
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	43.5%	52.2%	4.3%	0.0%	1.8
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	39.1%	60.9%	0.0%	0.0%	1.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	43.5%	52.2%	4.3%	0.0%	1.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	78.3%	21.7%	0.0%	0.0%	2.6



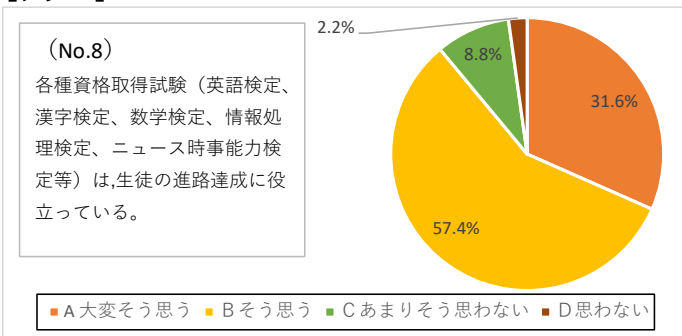
調査結果と考察

3 外国語コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

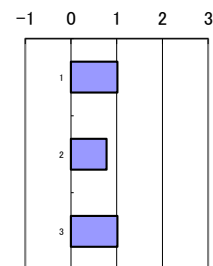
【グラフA】



【表A】

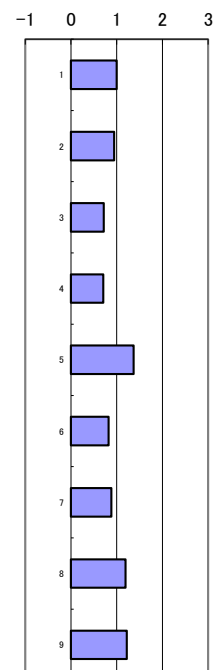
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	20.7%	61.5%	15.6%	2.2%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	14.7%	61.0%	22.8%	1.5%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	18.4%	66.9%	11.8%	2.9%	1.0



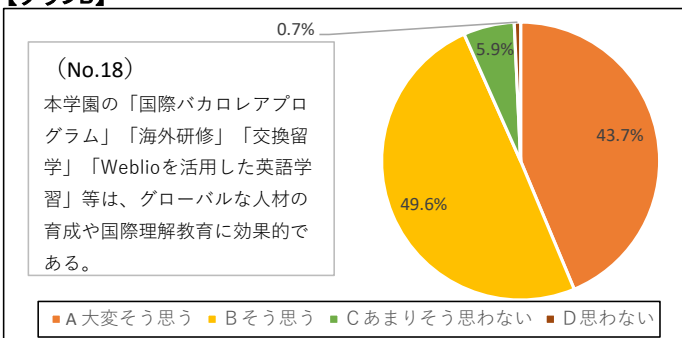
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	20.6%	62.5%	13.2%	3.7%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	14.7%	68.4%	16.2%	0.7%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.9%	66.7%	17.0%	4.4%	0.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	14.7%	58.8%	23.5%	2.9%	0.7
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	31.6%	57.4%	8.8%	2.2%	1.4
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	16.2%	62.5%	17.6%	3.7%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	14.0%	69.1%	14.0%	2.9%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	27.2%	58.1%	11.8%	2.9%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	22.1%	67.6%	9.6%	0.7%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○グラフにあるように、コースの特色である外国語検定資格取得の取り組みと成果が進路達成に役立つことが高く評価された。項目11,12の生徒・保護者・教員間の相談・対応、意思疎通も、保護者の方々のご理解とご協力を得て、コロナ下において適切に実施することができた。(A-8)

○コースの特色であるコミュニケーション・実技重視の授業・講習、講演会等の実施は、コロナ下制限が続く状況もあったが、オンラインなどのICT活用については、現在は従来の対面授業の代替以上の効果が期待されている。(A-2)

○今後も外国語言語教育と国際理解教育、各種スピーチコンテストや交流イベント等、コースならではの特色ある教育活動の充実、適切な情報提供を通じて、学力・進路実績の向上に努めたい。

【分析・考察】

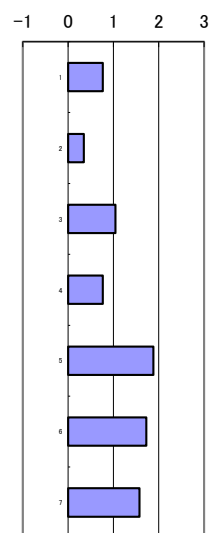
○グラフB(項目18)は、コースの特色であるIBDP、海外研修、交換留学等がグローバル人材の育成・国際理解教育に効果的だと高く評価された。コロナ下での制限がある中でも、「Stanford-e Sendaiikuei」など実施可能な新しい取り組み、プログラムにも積極的な参加があった。飲酒運転根絶など社会的意義のある活動・取り組みへの評価も大変高い。(B-18)

○項目14「ゼロディフェクト」の取り組みや、日々の学校生活・行事を通して、建学の精神、社会課題へ主体的に取り組む姿勢も育成できるよう、生徒・保護者・教員の3者間で目的・意義の共有を図りたい。(B-14)

○学校生活・行事の様々な機会を通じて、個々の資質と社会性の向上、社会に貢献できる人材の育成という目的を共有し、生徒・保護者・教員間のコミュニケーションをより活発にしたい。

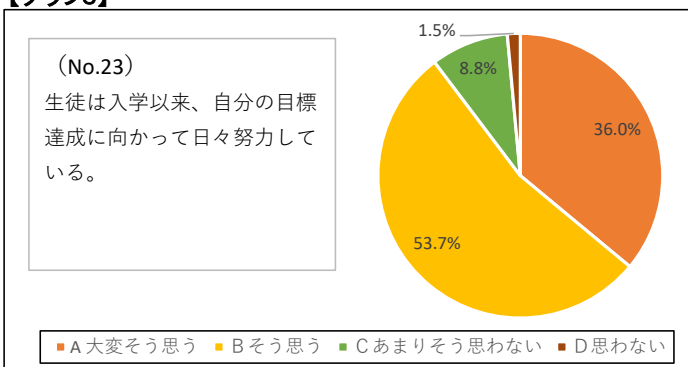
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	13.2%	65.4%	17.6%	3.7%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	8.1%	56.3%	30.4%	5.2%	0.3
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	17.8%	68.9%	11.1%	2.2%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	20.6%	52.2%	22.1%	5.1%	0.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	50.0%	44.1%	5.9%	0.0%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	43.7%	49.6%	5.9%	0.7%	1.7
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	40.4%	51.5%	4.4%	3.7%	1.6



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

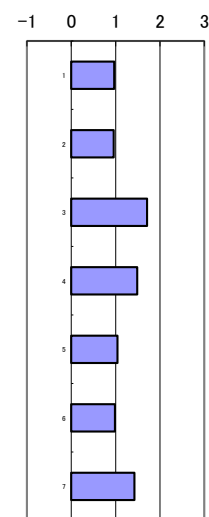
○グラフから生徒の学校生活について、進路達成に向けて努力していると、保護者が概ね評価している。学校の施設設備、緊急連絡システム、コロナ対策の対応もご理解・ご協力を頂き、評価された。(C-23)

○各生徒の希望進路達成のため、今後も生徒の実態把握と、生徒・保護者・教員3者間の良好なコミュニケーションを通して、信頼関係の構築に努めていきたい。(C-25)

○学校全体のハード・ソフト両面の利点に加え、様々な国籍の生徒・保護者、教員・スタッフが所属する外国語コース・国際部の教育環境を活かし、多様化するグローバル社会に求められる資質・能力の育成をさらに図っていきたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	24.3%	52.9%	19.9%	2.9%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	11.9%	74.6%	12.7%	0.7%	1.0
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	38.5%	59.3%	1.5%	0.7%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	36.0%	53.7%	8.8%	1.5%	1.5
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	19.3%	65.9%	12.6%	2.2%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	17.6%	69.9%	6.6%	5.9%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	33.1%	56.6%	8.8%	1.5%	1.4



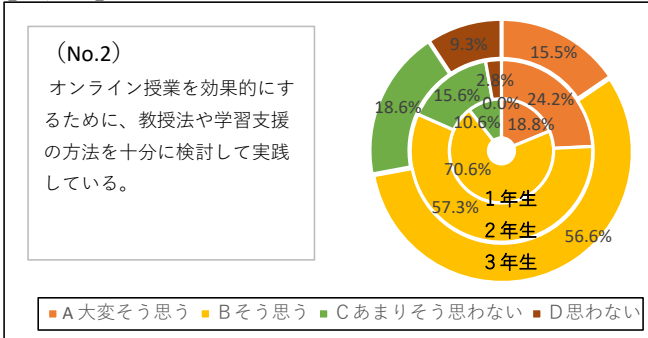
調査結果と考察

4 英進進学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



【表A】

I 授業について

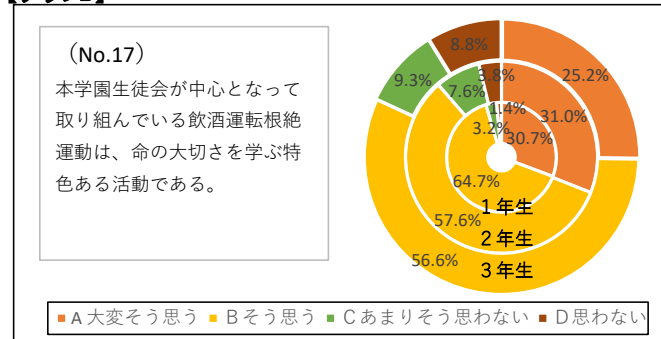
No.	設 問		A	B	C	D	評価値	-1	0	1	2	3
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	21.6%	71.1%	6.9%	0.5%	1.3					
		2年生	28.4%	56.9%	10.9%	3.8%	1.2					
		3年生	19.0%	55.8%	15.5%	9.7%	0.7					
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	18.8%	70.6%	10.6%	0.0%	1.2					
		2年生	24.2%	57.3%	15.6%	2.8%	1.1					
		3年生	15.5%	56.6%	18.6%	9.3%	0.6					
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	26.1%	69.7%	4.1%	0.0%	1.4					
		2年生	27.0%	60.7%	8.5%	3.8%	1.2					
		3年生	20.0%	55.6%	16.4%	8.0%	0.8					

II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	-1	0	1	2	3
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	22.6%	71.0%	6.0%	0.5%	1.3					
		2年生	26.1%	58.3%	12.8%	2.8%	1.2					
		3年生	15.5%	55.3%	17.3%	11.9%	0.5					
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	18.3%	75.7%	5.5%	0.5%	1.2					
		2年生	23.7%	62.1%	10.9%	3.3%	1.1					
		3年生	17.8%	60.0%	15.1%	7.1%	0.8					
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	38.4%	43.5%	12.7%	5.4%	1.3					
		2年生	23.2%	57.8%	15.2%	3.8%	1.0					
		3年生	15.5%	53.1%	22.1%	9.3%	0.5					
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	16.6%	65.9%	16.1%	1.4%	1.0					
		2年生	22.3%	51.2%	19.9%	6.6%	0.8					
		3年生	16.0%	55.6%	16.9%	11.6%	0.5					
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	35.3%	61.9%	2.8%	0.0%	1.7					
		2年生	33.2%	60.7%	4.3%	1.9%	1.5					
		3年生	28.8%	58.4%	5.3%	7.5%	1.2					
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	23.0%	67.7%	8.8%	0.5%	1.3					
		2年生	19.9%	56.9%	17.5%	5.7%	0.8					
		3年生	14.6%	54.0%	18.6%	12.8%	0.4					
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	25.2%	67.9%	6.9%	0.0%	1.4					
		2年生	22.7%	66.4%	8.1%	2.8%	1.2					
		3年生	17.3%	59.7%	13.3%	9.7%	0.7					
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	27.5%	63.3%	7.8%	1.4%	1.3					
		2年生	29.4%	58.3%	8.1%	4.3%	1.3					
		3年生	19.0%	60.2%	13.3%	7.5%	0.8					
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	21.6%	73.9%	4.6%	0.0%	1.3					
		2年生	26.7%	63.8%	7.1%	2.4%	1.3					
		3年生	18.6%	61.1%	14.6%	5.8%	0.8					

B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○いずれの項目も「肯定的評価」であり強いて触れるとすれば、項目2「オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している」が81.2%(保74.7%/教92.8%)であろう。数値的には8割を超え「肯定的評価」である。ただし「zoom」の扱い方には生徒にも教職員にも個人差が見られる。相互に研修を重ねていく必要がある。(A-2)
 ○教職員間で「実践事例」情報を共有する等、問題意識を生徒と共有して改善に取り組むことが肝要である。

【分析・考察】

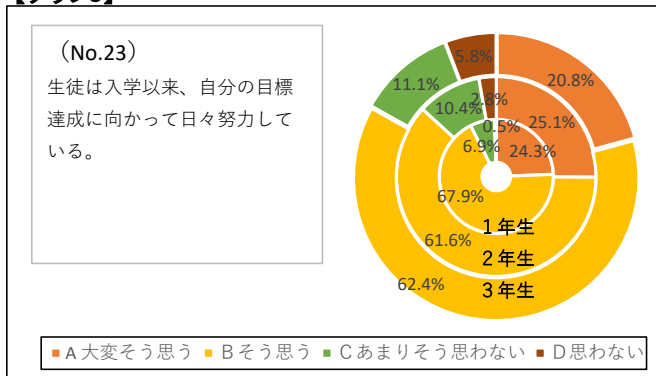
○高評価の項目はBの17「本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である」89.3%(保96.5%/教100%)、本学園が長いこと持続的に取り組むことで、生徒にもこの精神は根付いていることがわかる。(B-17)
 ○項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている」が72.5%(保71.0%/教71.4%)であり、学園内の学校生活においてはむしろ落ち着いた環境にある。一部メディアに取り上げられることでセンセーショナルな印象が強くなるため数値だけではなく冷静に受け止めたいと考える。(B-14)
 ○学園生活の充実のためにも、家庭でのタイムテーブルをしっかりと身につけさせることが肝要である。次年度は年度当初から「基本的生活習慣の確立」に取り組みたい。

【表B】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	15.6%	75.7%	7.8%	0.9%	1.1	
		2年生	21.3%	58.3%	13.7%	6.6%	0.9	
		3年生	15.5%	57.5%	18.6%	8.4%	0.6	
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	11.1%	68.2%	19.4%	1.4%	0.8	
		2年生	18.5%	50.2%	23.7%	7.6%	0.6	
		3年生	15.9%	52.7%	19.9%	11.5%	0.5	
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	19.7%	73.9%	5.0%	1.4%	1.2	
		2年生	23.7%	60.2%	12.8%	3.3%	1.1	
		3年生	16.4%	64.2%	9.3%	10.2%	0.7	
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	27.5%	60.1%	9.6%	2.8%	1.2	
		2年生	24.2%	53.6%	13.3%	9.0%	0.9	
		3年生	17.7%	49.6%	20.4%	12.4%	0.5	
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	30.7%	64.7%	3.2%	1.4%	1.5	
		2年生	31.0%	57.6%	7.6%	3.8%	1.3	
		3年生	25.2%	56.6%	9.3%	8.8%	1.0	
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	28.0%	66.5%	5.0%	0.0%	1.5	
		2年生	24.2%	58.8%	12.8%	4.3%	1.1	
		3年生	20.9%	58.7%	11.6%	8.9%	0.8	
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	27.1%	67.9%	5.0%	0.0%	1.4	
		2年生	30.8%	55.5%	10.0%	3.8%	1.3	
		3年生	24.8%	54.4%	12.4%	8.4%	0.9	

C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○注目したいのはCの23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している」が88.0%(保79.8%/教88.0%)であり、生徒の「肯定的評価」が高いことは「自己肯定感」が育成されていると評価したい。(C-23)
○Aの3「平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている」86.1%(保83.1%/教92.8%)と連動しており、本学園の教育活動が生徒に実感として伝わっているものと思われる。(A-3)
○項目20「本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。」は、8割評価を越えてはいるもの改善の余地が認められる。(C-20)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値	
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	29.5%	59.0%	8.8%	2.8%	1.3	
		2年生	20.4%	59.2%	13.7%	6.6%	0.9	
		3年生	23.5%	49.1%	15.5%	11.9%	0.7	
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	19.7%	70.6%	7.8%	1.8%	1.2	
		2年生	21.0%	61.0%	12.9%	5.2%	1.0	
		3年生	19.5%	52.7%	17.7%	10.2%	0.6	
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	26.1%	66.5%	6.0%	1.4%	1.3	
		2年生	27.0%	58.8%	10.4%	3.8%	1.2	
		3年生	22.6%	54.4%	12.4%	10.6%	0.8	
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	24.3%	67.9%	6.9%	0.5%	1.3	
		2年生	25.1%	61.6%	10.4%	2.8%	1.2	
		3年生	20.8%	62.4%	11.1%	5.8%	1.0	
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	19.3%	73.4%	6.9%	0.5%	1.2	
		2年生	25.1%	63.5%	8.1%	3.3%	1.2	
		3年生	18.6%	57.1%	14.6%	9.7%	0.7	
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	27.5%	66.1%	5.5%	0.9%	1.4	
		2年生	27.0%	62.6%	7.1%	3.3%	1.3	
		3年生	22.1%	57.1%	11.5%	9.3%	0.8	
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	30.3%	64.2%	4.6%	0.9%	1.5	
		2年生	28.9%	60.2%	8.1%	2.8%	1.3	
		3年生	27.0%	54.9%	11.1%	7.1%	1.0	

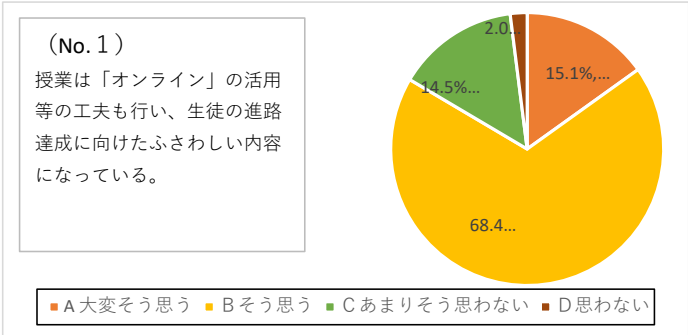
調査結果と考察

4 英進進学コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

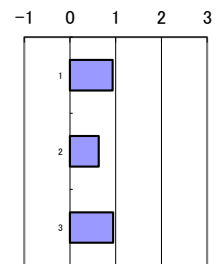
【グラフA】



【表A】

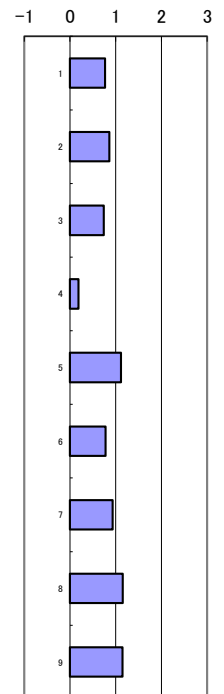
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	15.1%	68.4%	14.5%	2.0%	0.9
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.0%	65.7%	23.0%	2.3%	0.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	14.9%	68.9%	14.8%	1.4%	0.9



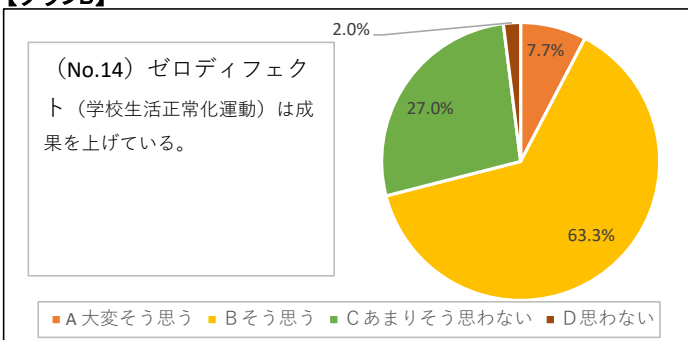
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	11.9%	67.4%	17.8%	2.9%	0.8
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	12.3%	70.9%	14.2%	2.6%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.4%	68.0%	19.6%	2.0%	0.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	7.5%	50.8%	35.1%	6.6%	0.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	19.0%	69.0%	11.0%	1.1%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	12.1%	66.8%	19.1%	2.0%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	14.7%	68.9%	14.7%	1.7%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	25.3%	60.6%	10.6%	3.5%	1.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	21.4%	67.0%	9.3%	2.3%	1.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総数)

【分析・考察】

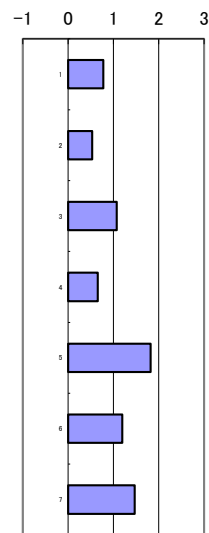
○項目1と3については「肯定的評価」となっている。課題となるのは項目2「オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している」であり、数値的にも74.7%(生81.2%/教92.8%)にとどまっている。生徒の評価が八割を超えているため「肯定的評価」されているものの、保護者の視点ではまだまだ改善すべき点があるものと思われる。ここは冷静に受け止めたい。(A-1)
○ICTの活用には、生徒と教職員という年代的な差ばかりでなく個人差も認められる。意欲的に取り組む好奇心旺盛な場合は、年齢に関係なく進取の精神に富んでいることも事実である。(A-2)
○研修の機会を増やすと共に、生徒共に試行錯誤しながら取り組むように相互に促したい。

【分析・考察】

○項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている」が71.0%(生72.5%/教71.4%)と数値的には低い、学園内の学校生活においてはむしろ落ち着いた環境にある。一部メディアに取り上げられることでセンセーショナルな印象が強くなるため数値だけではなく冷静に受け止めたいと考える。(B-14)
○項目23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している」は79.8%(生88.0%/教88.0%)と生徒・教職員間との数値の開きが認められるが、わが子を厳しく見つめる批判的期待としての親心と解釈し、学園生活での活躍と充実を保護者にもっと実感として伝えられるような取り組みが求められよう。(B-23)

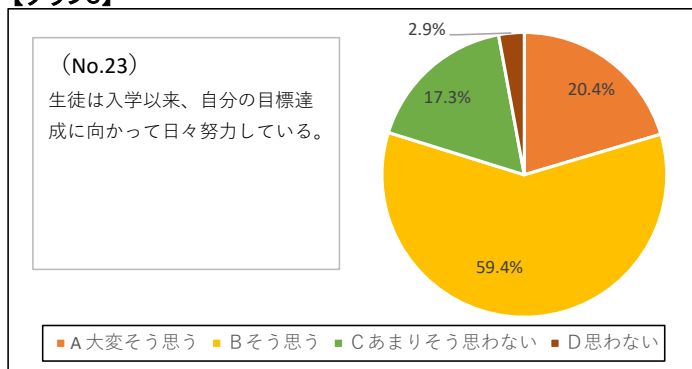
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	11.3%	67.6%	19.6%	1.4%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.7%	63.3%	27.0%	2.0%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	16.7%	71.5%	10.4%	1.4%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	12.7%	60.6%	23.3%	3.4%	0.7
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	45.0%	51.5%	2.9%	0.6%	1.8
18	本学園の「国際パカロレプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	21.6%	68.3%	8.3%	1.8%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	33.0%	58.6%	7.2%	1.2%	1.5



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○項目23「生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している」は79.8%(生88.0%/教88.0%)と生徒・教職員間との数値の開きが認められるが、わが子を厳しく見つめる批判的期待としての親心と解釈し、学園生活での活躍と充実を保護者にもっと実感として伝えられるような取組みが求められよう。(C-23)

○おおむね「肯定的評価」を得ているものの、以上の分析を通じた具体的な取組みについては以下の三点となろう。

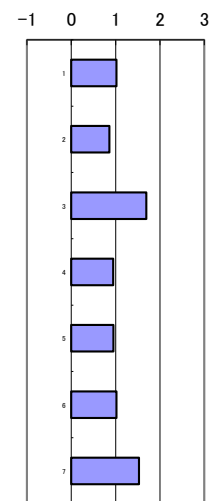
①オンライン授業の具体的な教授法等の習熟に努め保護者の理解を得ること。

②コロナ禍を克服し保護者対象の講演会等の機会を従来通り実施すること。

③学園内外での生徒の活躍を周知する広報活動の充実を図ること。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	23.1%	58.3%	15.0%	3.5%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	12.4%	71.1%	13.8%	2.8%	0.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	41.0%	53.5%	4.6%	0.9%	1.7
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	20.4%	59.4%	17.3%	2.9%	0.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	17.6%	64.9%	14.9%	2.6%	1.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	17.9%	68.5%	10.3%	3.4%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	34.5%	58.4%	5.8%	1.2%	1.5



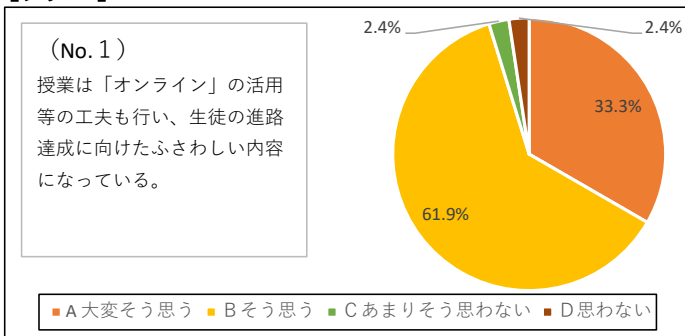
調査結果と考察

4 英進進学コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

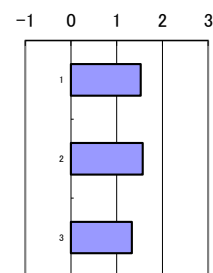
【グラフA】



【表A】

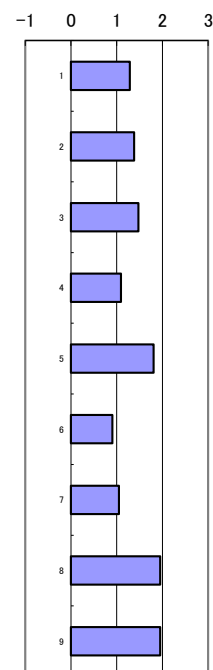
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	33.3%	61.9%	2.4%	2.4%	1.5
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	35.7%	57.1%	7.1%	0.0%	1.6
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	23.8%	69.0%	7.1%	0.0%	1.3



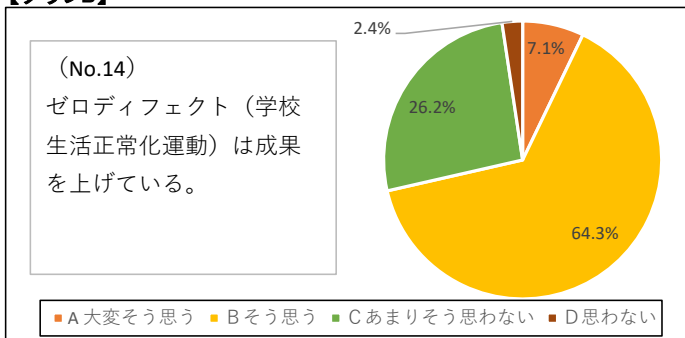
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	21.4%	71.4%	7.1%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	23.8%	71.4%	4.8%	0.0%	1.4
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	31.0%	61.9%	7.1%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	19.0%	69.0%	9.5%	2.4%	1.1
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	45.2%	50.0%	4.8%	0.0%	1.8
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	14.3%	71.4%	9.5%	4.8%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	19.0%	64.3%	16.7%	0.0%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	50.0%	47.6%	2.4%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまり思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総数)

【分析・考察】

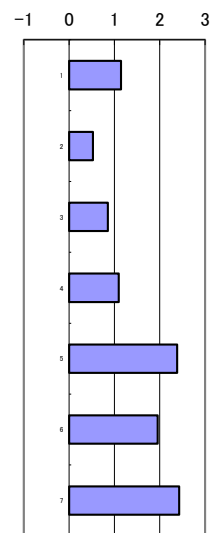
○いずれの項目も「肯定的評価」であり強いて触れるとすれば、項目2「オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している」が81.2%(保74.7%/教92.8%)であろう。数値的には八割を超え「肯定的評価」である。ただし、「zoom」の扱い方には生徒にも教職員にも個人差が見られる。相互に研修を重ねていく必要があろう。(A-1)
○項目7「生徒は本学園が実施している進路ガイダンス(外部講師による『進路講演会』、卒業生による「在卒懇」を活用している)」が76.7%(保58.3%/教88.0%)であり、生徒の意向や感触を踏まえた人選などが求められる。(A-7)
○生徒のニーズを再確認し進路ガイダンスがより効果的な実施となるように努めること。オンライン授業の研修会等を行い具体的な教授法等の習熟に努めること。

【分析・考察】

○項目14「ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている」が71.4%(保71.0%/生72.5%)であり、学園内の学校生活においてはむしろ落ち着いた環境にある。一部メディアに取り上げられることでセンセーショナルな印象が強くなるため数値だけではなく冷静に受け止めたいと考える。SNSでのトラブルが多くなり今後は生徒たちへの具体的な啓蒙活動が求められる。(B-14)
○オンライン授業の研修会等を行い教授法等の習熟に努め「できるようになる」こと。SNSでのトラブル回避の手立てを啓蒙活動を通して生徒に積極的に取り組むこと。生徒の「自己肯定感」をさらに充実させるためコロナ禍を克服して活動の正常化を図ること。

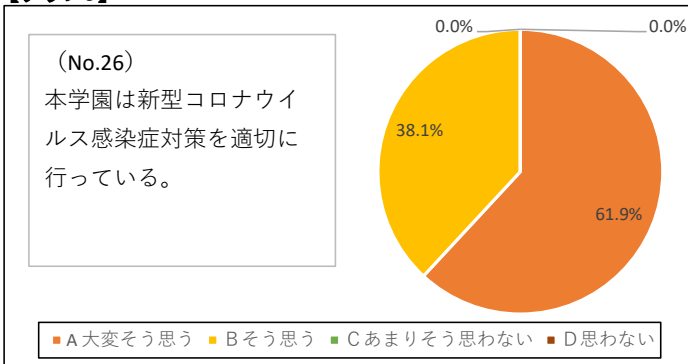
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	19.0%	69.0%	11.9%	0.0%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.1%	64.3%	26.2%	2.4%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	11.9%	69.0%	19.0%	0.0%	0.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	21.4%	61.9%	16.7%	0.0%	1.1
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	69.0%	31.0%	0.0%	0.0%	2.4
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	47.6%	52.4%	0.0%	0.0%	2.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	73.8%	23.8%	2.4%	0.0%	2.4



C その他

【グラフC】

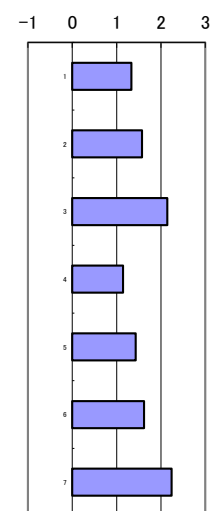


【分析・考察】

○「本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている」が100%(保92.9%/生88.6%)、Bの19「本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し新しい生活様式を進んで取り入れている」も97.6%(保91.6%/生97.2%)と高い評価を得ている。(C-26)
 ○教職員対応今後の課題 おおむね「肯定的評価」を得ているものの、以上の分析を通した具体的な取り組みについては以下の三点となろう。
 ①オンライン授業の研修会等を行い教授法等の習熟に努め「できるようになる」こと。②SNSでのトラブル回避の手立てを啓蒙活動を通して生徒に積極的に取り組むこと。③生徒の「自己肯定感」をさらに充実させるためコロナ禍を克服して活動の正常化を図ること。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	26.2%	66.7%	4.8%	2.4%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	31.0%	66.7%	2.4%	0.0%	1.6
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	59.5%	38.1%	2.4%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	19.0%	69.0%	11.9%	0.0%	1.1
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%	1.4
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	38.1%	54.8%	7.1%	0.0%	1.6
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	61.9%	38.1%	0.0%	0.0%	2.2



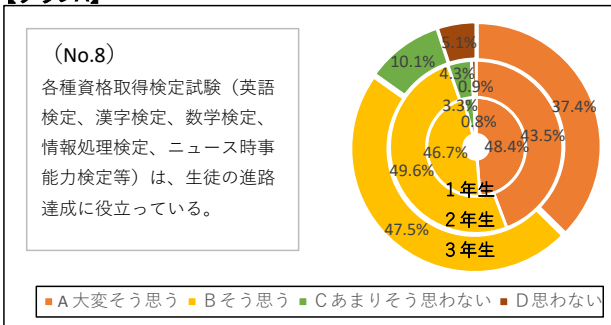
調査結果と考察

5 情報科学コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

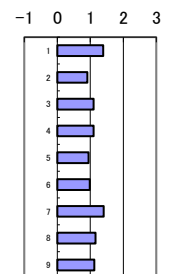
【分析・考察】

○生徒はコースの特性を活かした取組みに一定の評価をしている。特に検定試験を中心とした取組みが進路に役立つ実感を感じているようで、大変高評価の結果である。生徒の評価全般について、検定合格を目標としたり、ICTを活用したりと、情報科学コースの特性を活かしたものとなっていることを反映した結果であると考えられる。生徒自身にICT活用で先導的な役割を目指す、という意識を持たせ、一層目標達成への意欲を高めていきたい。(A-8)
 ○進路相談への対応についても概ね高評価で、面談や教育懇談の評価とも関連しているものと思われる。この点は教員の評価も高く、後期も個に寄り添った丁寧な指導を進めていきたい。(A-11)
 ○A7進路関係のガイダンスについては、決して低い評価ではないが、今後の取組みをより具体化し充実を図りたい。(A-7)

【表A】

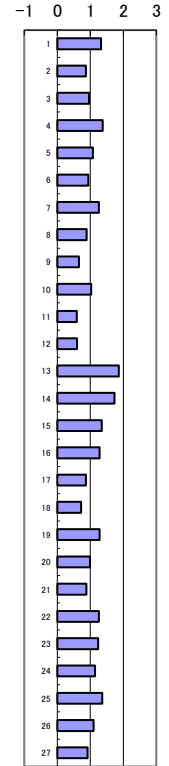
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生 31.1%	60.7%	4.9%	3.3%	1.4
		2年生 16.5%	66.1%	13.9%	3.5%	0.9
		3年生 28.3%	54.5%	11.1%	6.1%	1.1
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生 23.8%	61.5%	10.7%	4.1%	1.1
		2年生 20.0%	61.7%	13.9%	4.3%	0.9
		3年生 28.3%	48.5%	17.2%	6.1%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生 30.3%	59.8%	8.2%	0.8%	1.4
		2年生 26.1%	58.3%	13.0%	2.6%	1.2
		3年生 33.3%	47.5%	11.1%	8.1%	1.1



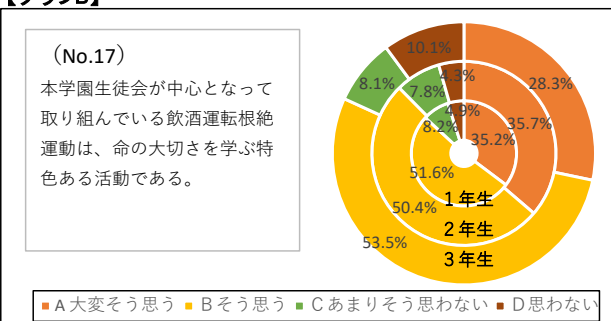
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生 35.2%	48.4%	13.9%	2.5%	1.3
		2年生 20.9%	58.3%	13.0%	7.0%	0.9
		3年生 25.3%	55.6%	11.1%	8.1%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生 29.5%	61.5%	7.4%	1.6%	1.4
		2年生 21.7%	60.9%	15.7%	0.9%	1.1
		3年生 22.2%	59.6%	11.1%	7.1%	0.9
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生 27.9%	59.0%	11.5%	1.6%	1.3
		2年生 20.0%	58.3%	16.5%	4.3%	0.9
		3年生 17.2%	56.6%	18.2%	8.1%	0.7
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生 26.2%	51.6%	18.0%	3.3%	1.0
		2年生 18.3%	51.3%	20.9%	8.7%	0.6
		3年生 18.2%	52.5%	20.2%	9.1%	0.6
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生 48.4%	46.7%	3.3%	0.8%	1.9
		2年生 43.5%	49.6%	4.3%	0.9%	1.7
		3年生 37.4%	47.5%	10.1%	5.1%	1.3
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生 27.9%	59.8%	10.7%	1.6%	1.3
		2年生 20.0%	57.4%	17.4%	4.3%	0.9
		3年生 21.2%	54.5%	13.1%	11.1%	0.7
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生 28.7%	59.8%	8.2%	3.3%	1.3
		2年生 21.7%	57.4%	18.3%	1.7%	1.0
		3年生 21.2%	59.6%	11.1%	8.1%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生 34.4%	48.4%	13.1%	4.1%	1.3
		2年生 25.2%	62.6%	9.6%	1.7%	1.2
		3年生 31.3%	49.5%	14.1%	5.1%	1.1
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生 29.5%	61.5%	6.6%	2.5%	1.4
		2年生 19.1%	67.0%	12.2%	0.9%	1.1
		3年生 26.3%	49.5%	18.2%	6.1%	0.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

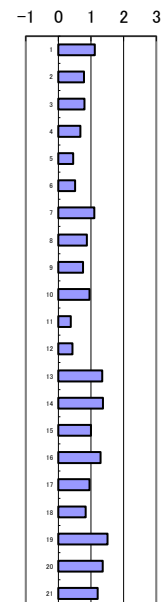


【分析・考察】

○飲酒運転根絶への取り組みが高評価であり、学園がこれを大切にしている意図が伝わっていると思われる。(B-17)
 ○新型コロナウイルス感染症への対応も大変高評価であり、Cの26番と同様の傾向である。学園として、丁寧な対応ができていることへの評価と考える。(B-19)
 ○B14は、「ゼロディフェクト」という言葉が生徒にどう捉えられているかも評価に影響を与えている可能性を推察するが、この言葉が意識に登らないことは、逆に良い傾向とも考えられる。新型コロナ感染防止のため、活動がまだまだイレギュラーなものとなることも続いており視野を広く持ちつつ日々の生徒指導にあたっていきたい。(B-14)

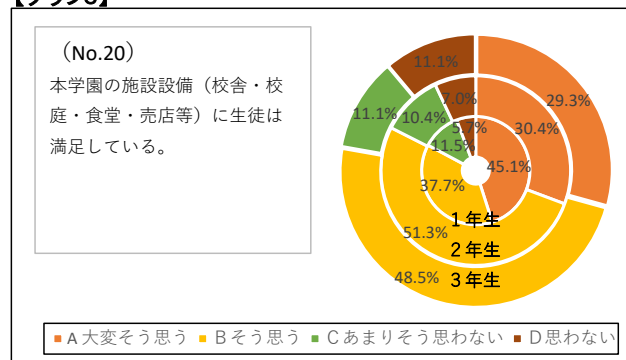
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生 27.9%	54.1%	13.9%	4.1%	1.1
		2年生 21.7%	52.2%	18.3%	7.0%	0.8
		3年生 19.2%	59.6%	13.1%	8.1%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生 18.0%	54.1%	21.3%	6.6%	0.7
		2年生 15.7%	51.3%	21.7%	10.4%	0.5
		3年生 16.2%	51.5%	24.2%	8.1%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生 25.4%	57.4%	13.9%	3.3%	1.1
		2年生 20.9%	58.3%	13.0%	7.0%	0.9
		3年生 19.2%	57.6%	15.2%	8.1%	0.8
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生 27.9%	48.4%	17.2%	6.6%	1.0
		2年生 15.7%	47.8%	22.6%	11.3%	0.4
		3年生 16.2%	53.5%	16.2%	14.1%	0.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生 35.2%	51.6%	8.2%	4.9%	1.3
		2年生 35.7%	50.4%	7.8%	4.3%	1.4
		3年生 28.3%	53.5%	8.1%	10.1%	1.0
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生 32.8%	54.1%	8.2%	4.9%	1.3
		2年生 17.4%	64.3%	15.7%	1.7%	1.0
		3年生 22.2%	55.6%	14.1%	8.1%	0.8
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生 35.2%	57.4%	4.9%	2.5%	1.5
		2年生 35.7%	52.2%	5.2%	6.1%	1.4
		3年生 30.3%	56.6%	6.1%	7.1%	1.2



C その他

【グラフC】

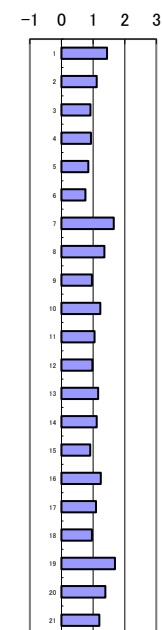


【分析・考察】

○本学園の施設設備について、比較的高評価である。学園内のICT環境や、行き届いた清掃の状況などを踏まえているものと推察する。(C-20)
○C22のICTを用いた連絡体制について、高評価である。これは新型コロナウイルス感染対策C26の評価とも連動した結果と思われる。体調不良の連絡や欠席連絡は職員のTeamsと連動しており、Slackを活用して詳細なやり取りもスムーズに行うことができて結果を反映した評価と思われる。(C-22)
○今後ZoomアサインのClassの効果的活用に向けて研究を行うことなど、学びの質をより高めていく活動を推進し、生徒の達成感を導きたい。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生 45.1%	37.7%	11.5%	5.7%	1.4
		2年生 30.4%	51.3%	10.4%	7.0%	1.1
		3年生 29.3%	48.5%	11.1%	11.1%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生 23.8%	55.7%	13.9%	6.6%	0.9
		2年生 22.6%	54.8%	13.9%	7.8%	0.9
		3年生 22.2%	55.6%	10.1%	12.1%	0.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生 41.8%	50.8%	5.7%	1.6%	1.7
		2年生 32.2%	56.5%	7.0%	3.5%	1.4
		3年生 31.3%	44.4%	15.2%	9.1%	1.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生 29.5%	54.9%	13.1%	2.5%	1.2
		2年生 27.0%	50.4%	19.1%	2.6%	1.0
		3年生 23.2%	58.6%	12.1%	6.1%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生 27.9%	55.7%	13.1%	3.3%	1.2
		2年生 21.7%	64.3%	10.4%	2.6%	1.1
		3年生 26.3%	51.5%	12.1%	9.1%	0.9
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生 32.0%	52.5%	11.5%	4.1%	1.2
		2年生 28.7%	53.9%	9.6%	7.0%	1.1
		3年生 32.3%	45.5%	10.1%	12.1%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生 41.8%	52.5%	4.1%	1.6%	1.7
		2年生 40.0%	45.2%	7.8%	6.1%	1.4
		3年生 34.3%	50.5%	6.1%	9.1%	1.2



調査結果と考察

5 情報科学コース

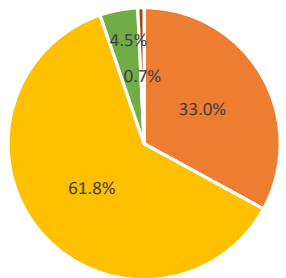
(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】

(No.8)

各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない

評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○A8資格試験の進路達成への効果は、保護者も大変高い評価であり、情報科学コースの特色としてしっかり受けとめられているとともに、充実感も感じていただいている。(A-8)

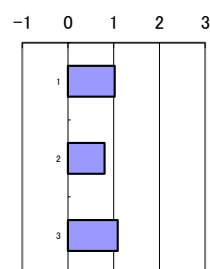
○A2については他に比べやや低い評価であるが、Classの活用など実践研究中であり、保護者に十分発信していきたい。(A-2)

○進路ガイダンスについても、やや低めの評価であり、教員の評価と乖離しているのは課題点である。3年間を見通した取り組みが計画的に行われているが、今後外部のガイダンス等の活用も工夫していきたい。また、保護者に向けて取り組みを丁寧に発信していく必要があると思われる、月間行事の連絡の際に、関連の連絡にも十分留意したい。(A-7)

【表A】

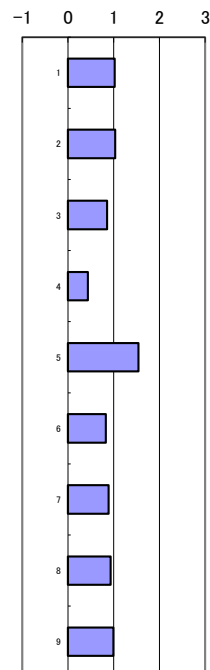
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	16.8%	69.0%	12.7%	1.5%	1.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	12.7%	65.2%	21.3%	0.7%	0.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	18.4%	68.2%	13.1%	0.4%	1.1



II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	18.0%	65.9%	15.4%	0.7%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	16.1%	70.4%	12.4%	1.1%	1.0
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	11.6%	70.4%	17.2%	0.7%	0.9
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	9.4%	57.5%	28.6%	4.5%	0.4
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	33.0%	61.8%	4.5%	0.7%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	15.0%	62.8%	20.7%	1.5%	0.8
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	11.3%	72.6%	15.4%	0.8%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	20.6%	58.1%	18.7%	2.6%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	21.0%	60.7%	15.4%	3.0%	1.0

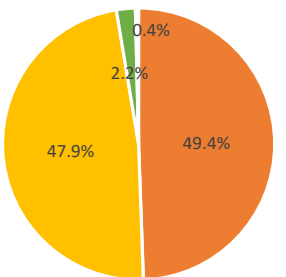


B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

(No.17)

本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。



■ A 大変そう思う ■ B そう思う ■ C あまりそう思わない ■ D 思わない

【分析・考察】

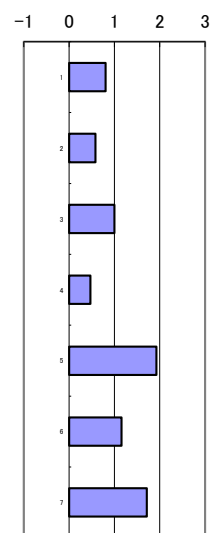
○飲酒運転根絶への取り組みは、生徒とともに保護者からも大変高い評価を得ている。本学園が大切にしているこの運動の意味が十分浸透しているものと思われる。(B-17)

○コロナ感染対策は、生徒と同様に高評価を得、ご理解もいただいているということであるので、今後も確実に継続したい。(B-19)

○B14の質問では、「ゼロディフェクト運動」の言葉が理解されていない可能性もあると思われる。生徒指導で、保護者との連絡・連携をなお一層心がけたい。(B-14)

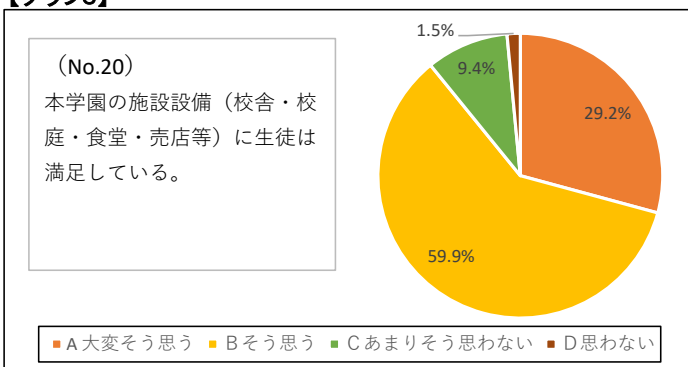
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	12.4%	68.2%	16.9%	2.6%	0.8
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	7.9%	64.7%	25.9%	1.5%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	17.2%	66.7%	15.0%	1.1%	1.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	10.1%	59.2%	24.7%	6.0%	0.5
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	49.4%	47.9%	2.2%	0.4%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	19.9%	69.3%	9.7%	1.1%	1.2
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	39.3%	57.3%	3.0%	0.4%	1.7



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

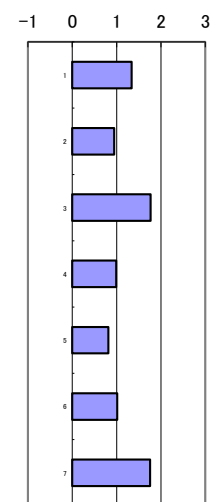
○学校の施設設備の保護者満足度は高く、校舎の状況や、ICT環境の整備によるところが大きいかと推察する。特にICT活用について、大変高評価を得ている。情報科学コースとしては心強い結果であり、今後も方向性を持ってぶれずに進んでいきたい。(C-20)

○新型コロナ感染対策への高評価とも関連しているものと推察される。(C-26)

○特別な支援・配慮を要する生徒等へのきめ細やかな指導について、やや不安な評価が見られるため、十分に留意して行きたい。(C-24)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	29.2%	59.9%	9.4%	1.5%	1.3
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	13.5%	72.2%	12.4%	1.9%	0.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	40.1%	58.4%	1.1%	0.4%	1.8
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	21.7%	58.4%	17.6%	2.2%	1.0
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	16.5%	62.0%	16.9%	4.5%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	18.0%	67.4%	12.0%	2.6%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	41.6%	55.1%	3.0%	0.4%	1.8



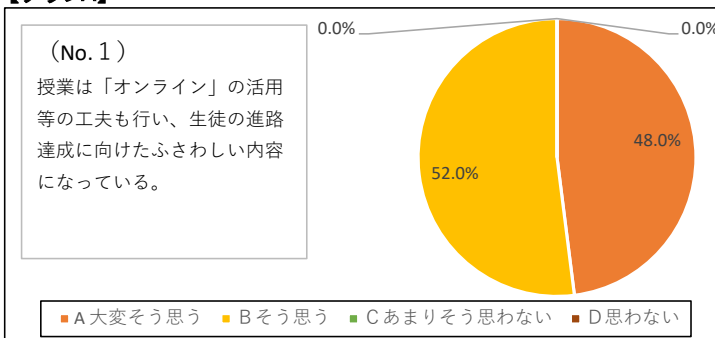
調査結果と考察

5 情報科学コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

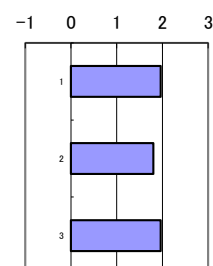
【分析・考察】

○授業はオンラインも交えた進路達成に向けてふさわしいものになっている、についての評価が高い。また、コースの特性を活かした活動が進路実現に効果、も高評価である。情報科学コースとしての特性を発揮することで手応えを感じているものと思われる。新型コロナウイルス感染症対策を継続する中で、コースの特色を発揮しながら教育活動を十全なものにしようとする意欲が感じられる。(A-1)
○資格試験への取り組みが進路達成につながることを評価も例年通りとても高く、校長先生のご指導のもと、目標にむけて情報科をサポートしながらコースとして取り組んでいる意識が見られる。(A-8)
○生徒からの相談への対応や面談及び教育懇談の実施についても評価は高く丁寧に指導にあたっている自負が伺える。(A-12)

【表A】

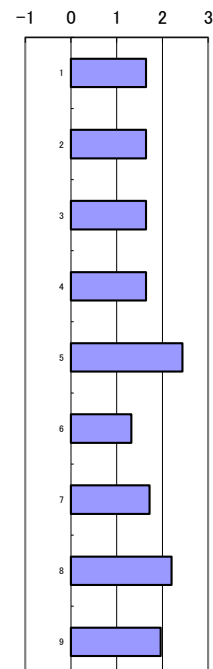
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	2.0
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	44.0%	52.0%	4.0%	0.0%	1.8
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	2.0



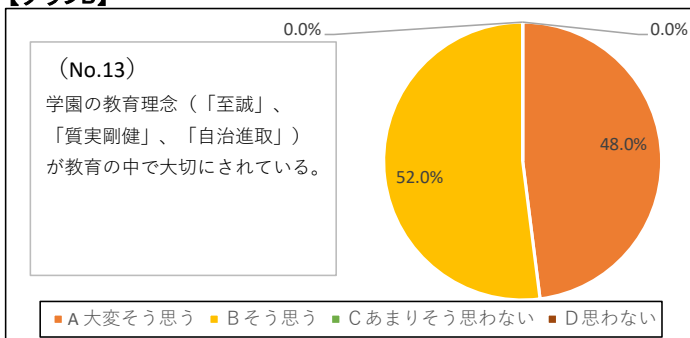
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	36.0%	60.0%	4.0%	0.0%	1.6
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	36.0%	60.0%	4.0%	0.0%	1.6
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	32.0%	68.0%	0.0%	0.0%	1.6
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	36.0%	60.0%	4.0%	0.0%	1.6
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	2.4
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	28.0%	60.0%	12.0%	0.0%	1.3
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	36.0%	64.0%	0.0%	0.0%	1.7
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	2.2
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	2.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

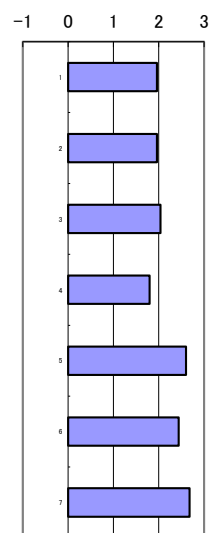


【分析・考察】

○学園の教育理念を教育活動の中に活かすことをはじめ、全般的に高評価である。(B-13)
○特に本校生徒会が中心となって取り組む飲酒運転根絶運動について評価が高く、新しく加わったスタッフを含め、この運動の重要性が理解されている。(B-17)
○また新型コロナウイルス感染症対策についても大変評価が高く、校長先生のご指導に基づき、共通理解のもとと取り組むことができているという認識であると思われる。(B-19)

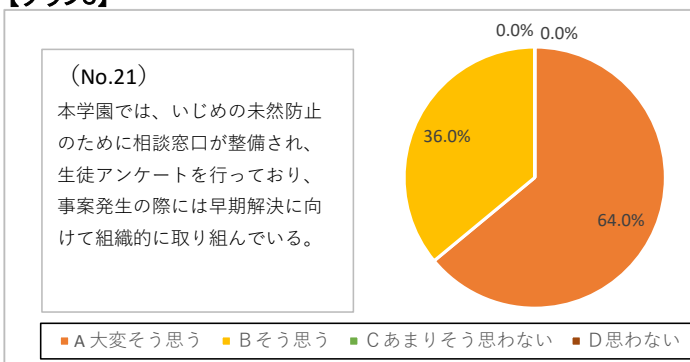
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	48.0%	52.0%	0.0%	0.0%	2.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	52.0%	44.0%	4.0%	0.0%	2.0
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	2.0
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	48.0%	44.0%	8.0%	0.0%	1.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際パカロシアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	72.0%	28.0%	0.0%	0.0%	2.4
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	84.0%	16.0%	0.0%	0.0%	2.7



C その他

【グラフC】

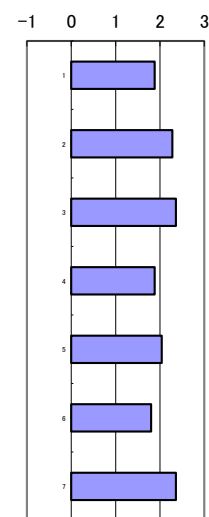


【分析・考察】

〇いじめ防止の取り組みへの評価が高く、生活向上本部のリーダーシップで組織的に対応が行われていることの反映かと思われる。(C-21)
 〇また、緊急連絡体制の整備やICTを活用した教育活動推進についても手応えを感じている。(C-22)
 〇情報科学コースとして前年度から活用させていただいているSlackの一層の有効活用を推進するとともに、ZoomのアドインであるClassを用いた効果的なオンライン授業のあり方について実践を行い知見を得て、コースとしての役割を認識し発信していきたい。生徒が目標達成に向けて努力しているとの評価が、例年になく高い。これは本学園の教育理念に基づき、コースの教育課程の特色を生かしながら、生徒とよく面談などでコミュニケーションが取れている結果としての評価と読み取ることができる。

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	52.0%	40.0%	8.0%	0.0%	1.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	64.0%	36.0%	0.0%	0.0%	2.3
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	2.4
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	52.0%	40.0%	8.0%	0.0%	1.9
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	52.0%	48.0%	0.0%	0.0%	2.0
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	44.0%	52.0%	4.0%	0.0%	1.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	68.0%	32.0%	0.0%	0.0%	2.4



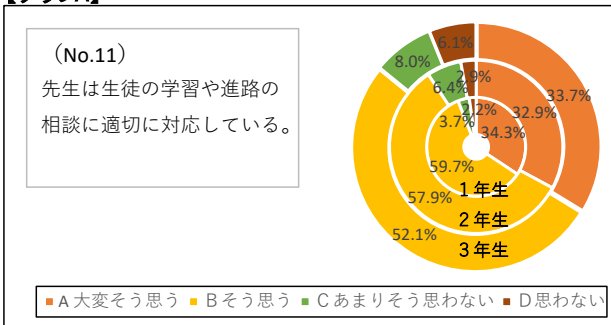
調査結果と考察

6 フレックスコース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

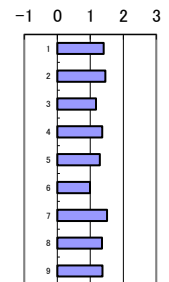
【分析・考察】

○グラフA(設問11)より
生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導を行っていることが現れている。
(A-11)
○表A(設問3)より
本校一歩の特長である部活動や各種検定試験の取り組みが進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)

【表A】

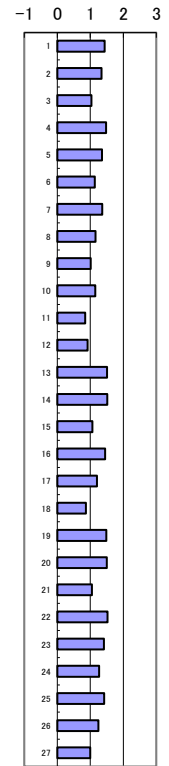
I 授業について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	30.6%	59.7%	9.0%	0.7%	1.4
		2年生	31.4%	60.7%	7.1%	0.7%	1.5
		3年生	32.5%	50.3%	10.4%	6.7%	1.2
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	27.6%	64.2%	6.7%	1.5%	1.4
		2年生	26.4%	63.6%	7.9%	2.1%	1.3
		3年生	25.8%	52.8%	16.6%	4.9%	1.0
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	32.8%	60.4%	6.0%	0.7%	1.5
		2年生	30.0%	59.3%	9.3%	1.4%	1.4
		3年生	34.4%	54.6%	6.1%	4.9%	1.4



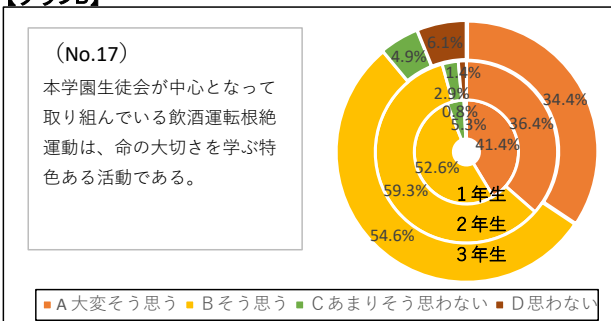
II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	32.1%	60.4%	4.5%	3.0%	1.4
		2年生	27.9%	62.9%	7.9%	1.4%	1.3
		3年生	27.0%	57.1%	6.7%	9.2%	1.0
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	30.6%	63.4%	5.2%	0.7%	1.5
		2年生	27.1%	65.0%	6.4%	1.4%	1.4
		3年生	27.0%	58.3%	9.2%	5.5%	1.1
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	27.6%	64.9%	5.2%	2.2%	1.4
		2年生	22.9%	65.0%	9.3%	2.9%	1.2
		3年生	25.2%	57.7%	9.8%	7.4%	1.0
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	23.9%	62.7%	10.4%	3.0%	1.1
		2年生	20.7%	55.7%	18.6%	5.0%	0.8
		3年生	23.9%	55.2%	13.5%	7.4%	0.9
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	31.3%	64.2%	3.0%	1.5%	1.5
		2年生	32.1%	61.4%	6.4%	0.0%	1.5
		3年生	24.5%	59.5%	10.4%	5.5%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	29.1%	65.7%	3.7%	1.5%	1.4
		2年生	25.7%	60.7%	11.4%	2.1%	1.2
		3年生	23.9%	53.4%	14.7%	8.0%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	33.1%	60.2%	4.5%	2.3%	1.5
		2年生	30.7%	64.3%	4.3%	0.7%	1.5
		3年生	26.4%	55.8%	11.7%	6.1%	1.0
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	34.3%	59.7%	3.7%	2.2%	1.5
		2年生	32.9%	57.9%	6.4%	2.9%	1.4
		3年生	33.7%	52.1%	8.0%	6.1%	1.3
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	33.6%	56.0%	8.2%	2.2%	1.4
		2年生	25.0%	65.7%	5.7%	3.6%	1.2
		3年生	25.8%	54.0%	14.7%	5.5%	1.0



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



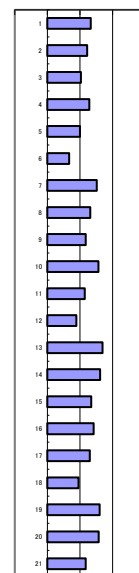
【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしかりと考えている結果である。i-Lion dayの取組の成果である。(B-17)
○表B(設問14)より
ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)について、学年が上がるとに従って数値が下がっている。学校生活のルールを守ることの大切さを心に響くように指導に努めたい。(B-14)

【表B】

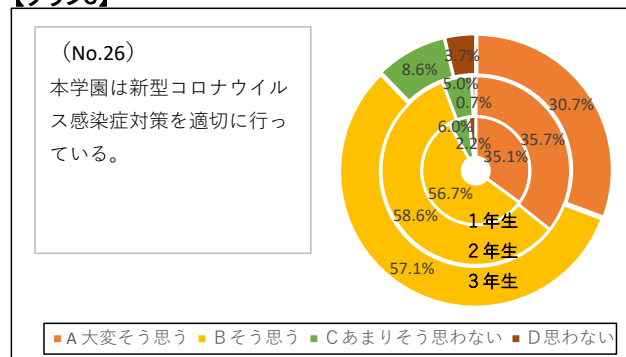
No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	29.1%	60.4%	8.2%	2.2%	1.3
		2年生	25.0%	61.4%	12.9%	0.7%	1.2
		3年生	25.2%	55.2%	15.3%	4.3%	1.0
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	26.9%	61.9%	9.7%	1.5%	1.3
		2年生	20.7%	61.4%	15.0%	2.9%	1.0
		3年生	22.1%	50.3%	16.6%	11.0%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	31.6%	63.9%	3.0%	1.5%	1.5
		2年生	23.6%	70.0%	5.0%	1.4%	1.3
		3年生	28.8%	56.4%	9.2%	5.5%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	38.8%	53.0%	6.0%	2.2%	1.6
		2年生	27.1%	57.1%	11.4%	4.3%	1.1
		3年生	28.4%	49.4%	10.5%	11.7%	0.9
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	41.4%	52.6%	5.3%	0.8%	1.7
		2年生	36.4%	59.3%	2.9%	1.4%	1.6
		3年生	34.4%	54.6%	4.9%	6.1%	1.3
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	29.1%	64.2%	5.2%	1.5%	1.4
		2年生	25.0%	67.1%	5.7%	2.1%	1.3
		3年生	23.9%	57.1%	11.7%	7.4%	1.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	36.6%	58.2%	3.7%	1.5%	1.6
		2年生	35.7%	57.9%	5.7%	0.7%	1.6
		3年生	27.0%	60.7%	6.1%	6.1%	1.2

-1 0 1 2 3



C その他

【グラフC】



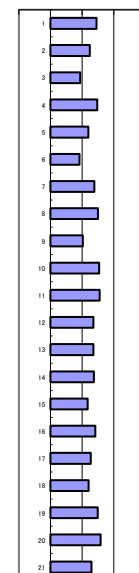
【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策について、適切に行っているとの結果になっている。(C-26)
○表C(設問23)より
入学以来、一貫して日々努力していることが数値に表れている。生徒一人一人の目標達成に向けて支援に努めたい。(C-23)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	35.7%	54.5%	6.5%	3.2%	1.5
		2年生	32.9%	50.7%	12.1%	4.3%	1.2
		3年生	28.4%	51.9%	8.0%	11.7%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	35.8%	54.5%	7.5%	2.2%	1.5
		2年生	25.7%	62.9%	7.1%	4.3%	1.2
		3年生	26.4%	50.3%	16.0%	7.4%	0.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	35.1%	53.0%	8.2%	3.7%	1.4
		2年生	32.1%	62.1%	4.3%	1.4%	1.5
		3年生	26.4%	54.6%	12.9%	6.1%	1.0
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	37.6%	54.1%	6.0%	2.3%	1.5
		2年生	32.9%	62.9%	3.6%	0.7%	1.6
		3年生	29.4%	62.6%	4.3%	3.7%	1.4
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	30.6%	60.4%	5.2%	3.7%	1.4
		2年生	29.3%	62.1%	6.4%	2.1%	1.4
		3年生	26.1%	59.6%	11.2%	3.1%	1.2
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	29.9%	63.4%	4.5%	2.2%	1.4
		2年生	30.9%	56.8%	7.2%	5.0%	1.3
		3年生	30.1%	55.2%	9.8%	4.9%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	35.1%	56.7%	6.0%	2.2%	1.5
		2年生	35.7%	58.6%	5.0%	0.7%	1.6
		3年生	30.7%	57.1%	8.6%	3.7%	1.3

-1 0 1 2 3



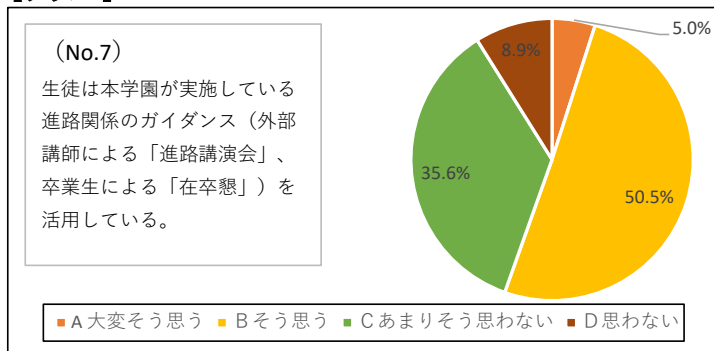
調査結果と考察

6 フレックスコース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○グラフA(設問7)より

生徒・教職員と同様に「進路ガイダンス」「在卒懇」の活用が十分ではないことを示しているものと推察する。【進路ガイダンス】や【在卒懇】について、新型コロナウイルスへの感染対策を行いながら、実施の方法の工夫や内容の充実を図っていきたい。

(A-7)

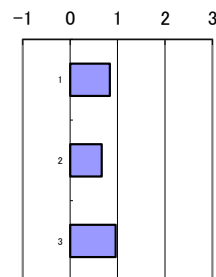
○表A(設問3)より

本コース特長を理解していただいております、進路実現に役立っていると評価していただいている。(A-3)

【表A】

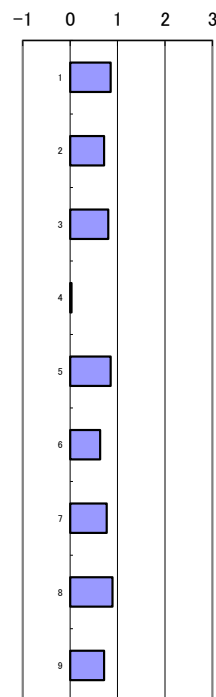
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	10.7%	72.3%	15.0%	1.9%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	9.8%	66.8%	20.5%	2.9%	0.7
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	18.5%	63.9%	14.6%	2.9%	1.0



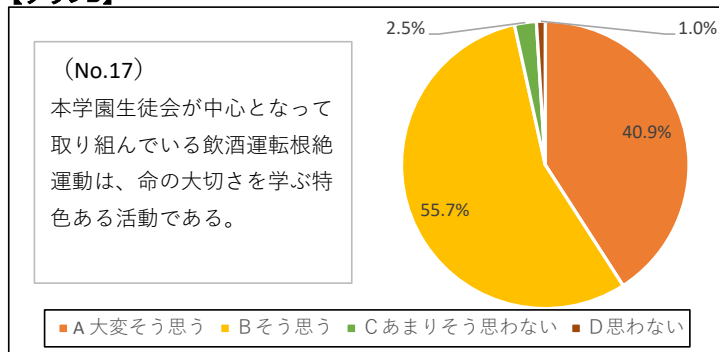
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	15.6%	63.4%	19.0%	2.0%	0.9
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	10.3%	67.2%	20.6%	2.0%	0.7
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	10.3%	71.9%	15.3%	2.5%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	5.0%	50.5%	35.6%	8.9%	0.0
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	13.3%	69.0%	14.8%	3.0%	0.9
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	10.3%	66.5%	17.7%	5.4%	0.6
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	12.3%	66.5%	18.7%	2.5%	0.8
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	21.2%	58.1%	14.8%	5.9%	0.9
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	15.3%	61.6%	16.7%	6.4%	0.7



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



【分析・考察】

○グラフB(設問17)より

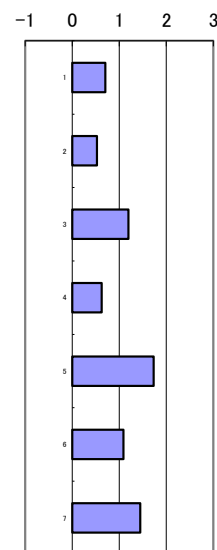
生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組に高い評価をしていただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。(B-17)

○表B(設問14)より

保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を工夫して実施していきたい。(B-14)

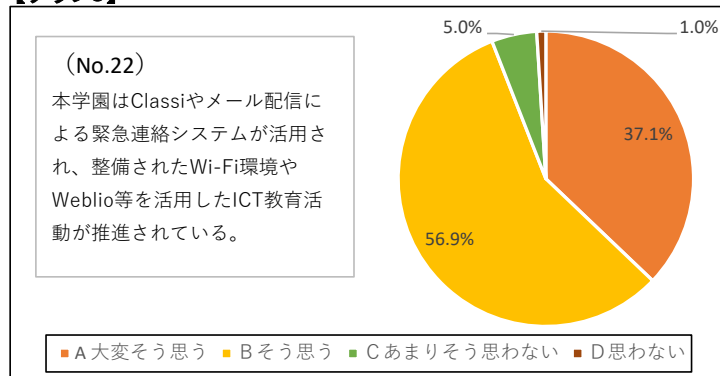
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	11.3%	66.5%	18.2%	3.9%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	6.9%	66.3%	22.8%	4.0%	0.5
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	21.2%	69.5%	7.4%	2.0%	1.2
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	11.4%	64.9%	17.3%	6.4%	0.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	40.9%	55.7%	2.5%	1.0%	1.7
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	16.7%	72.4%	9.4%	1.5%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	35.0%	56.2%	4.9%	3.9%	1.4



C その他

【グラフC】



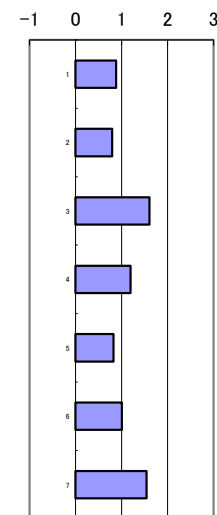
【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。今年度より1年次生全員がOwnPCを購入しているが、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)

○表C(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っていると高く評価していただいている。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	20.7%	58.6%	14.8%	5.9%	0.9
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	12.1%	69.4%	14.6%	3.9%	0.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	37.1%	56.9%	5.0%	1.0%	1.6
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	29.1%	53.7%	15.3%	2.0%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	16.3%	64.0%	14.3%	5.4%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	19.7%	63.5%	14.3%	2.5%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	36.9%	55.2%	5.9%	2.0%	1.5



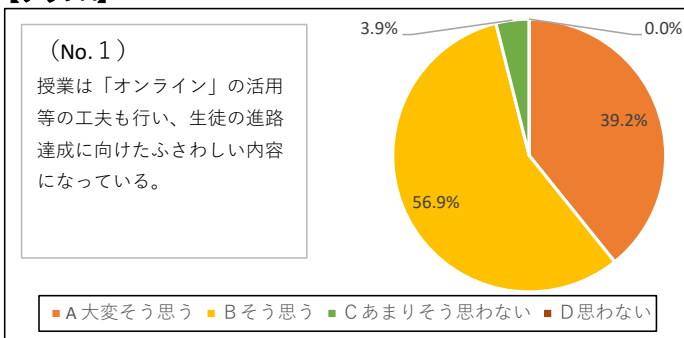
調査結果と考察

6 フレックスコース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

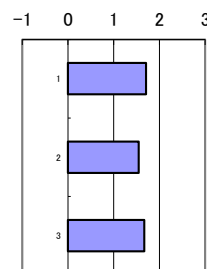
【分析・考察】

○グラフA(設問1)より
オンラインによる授業配信に慣れ、それぞれの教員がオンラインならではの工夫をしているものと推察できる。(A-1)
○表A(設問7)より
「進路ガイダンス」「在卒懇」の活用が十分でないことを示している。コロナ禍であっても、ガイダンスの実施や内容の充実を図っていききたい。(A-7)

【表A】

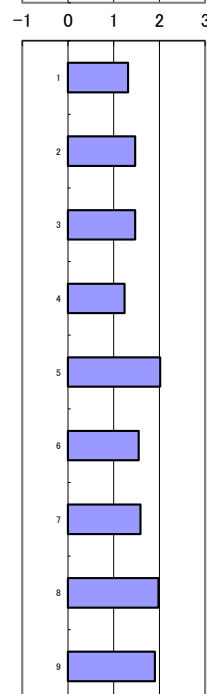
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	39.2%	56.9%	3.9%	0.0%	1.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	35.3%	56.9%	7.8%	0.0%	1.5
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	37.3%	58.8%	3.9%	0.0%	1.7



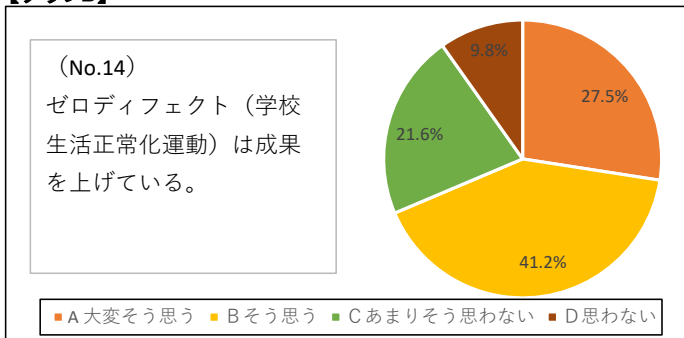
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	31.4%	52.9%	15.7%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	33.3%	56.9%	9.8%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	33.3%	56.9%	9.8%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	33.3%	51.0%	9.8%	5.9%	1.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	51.0%	49.0%	0.0%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	35.3%	56.9%	7.8%	0.0%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%	1.6
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	49.0%	51.0%	0.0%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	47.1%	51.0%	2.0%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

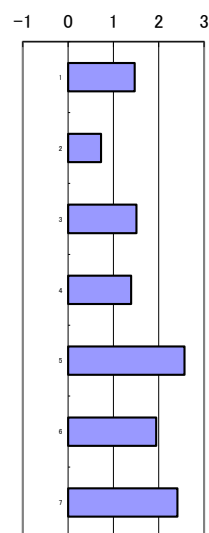


【分析・考察】

○グラフB(設問14)より
低い数値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。教員と生徒の人間関係が良好な関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるように支援していかなければならない。(B-14)
○表B(設問17)より
i-Lion Dayの取り組みにより、意識が高まったものと考察できる。(B-17)

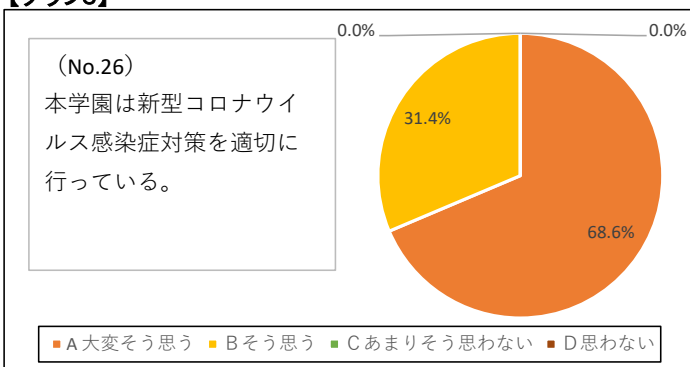
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	39.2%	45.1%	15.7%	0.0%	1.5
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	27.5%	41.2%	21.6%	9.8%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	37.3%	51.0%	11.8%	0.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	37.3%	45.1%	17.6%	0.0%	1.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	1.9
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	72.5%	25.5%	2.0%	0.0%	2.4



C その他

【グラフC】

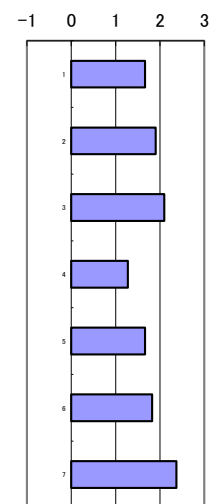


【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
【項目19】2.4ポイント、【項目26】2.4ポイントと、新型コロナウイルス感染症の対策に適切に取り組んでいる点が挙げられる。(C-26)
○表C(設問23)より
教職員から見ると、「A: 大変そう思う」と考える数値が27.5%と高くないが、もっと努力して欲しいという思いが表れているものと考察できる。(C-23)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	47.1%	39.2%	13.7%	0.0%	1.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	49.0%	47.1%	3.9%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	58.8%	37.3%	3.9%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	27.5%	58.8%	13.7%	0.0%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	41.2%	51.0%	7.8%	0.0%	1.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%	1.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	68.6%	31.4%	0.0%	0.0%	2.4



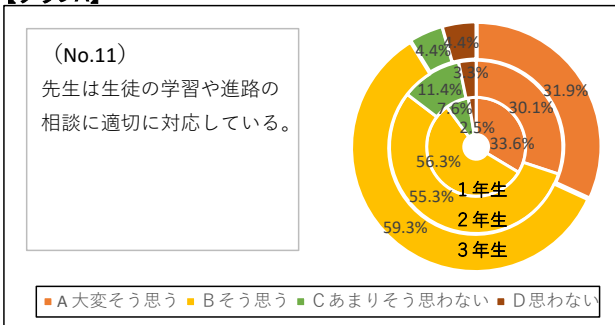
調査結果と考察

7 技能開発コース

(1) 生徒対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

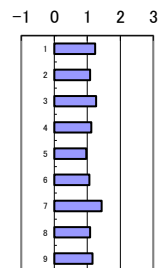
【分析・考察】

○グラフA(設問11)より
生徒の学習や進路についての悩みに先生方が適切に対応していると評価しているもので、様々な問題を抱えた生徒の悩みなどに寄り添った支援・指導を行っていることが現れている。(A-11)
○表A(設問3)より
本校コースの特長である部活動や各種検定試験の取り組み、学校設定科目の授業設定等が進路希望達成に役立っていることが評価されている。今後もさらに充実を図りたい。(A-3)

【表A】

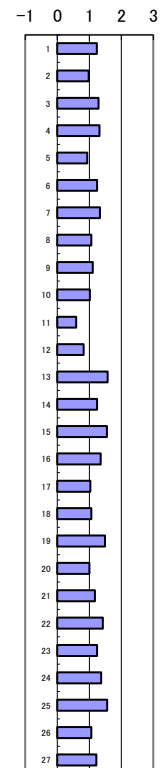
I 授業について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	1年生	25.2%	63.0%	10.1%	1.7%	1.2
		2年生	26.0%	56.9%	12.2%	4.9%	1.1
		3年生	30.8%	58.2%	4.4%	6.6%	1.3
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	1年生	22.7%	63.9%	10.1%	3.4%	1.1
		2年生	19.5%	61.8%	16.3%	2.4%	1.0
		3年生	23.1%	61.5%	11.0%	4.4%	1.1
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	1年生	31.9%	58.8%	8.4%	0.8%	1.4
		2年生	26.0%	56.9%	12.2%	4.9%	1.1
		3年生	20.9%	69.2%	6.6%	3.3%	1.2



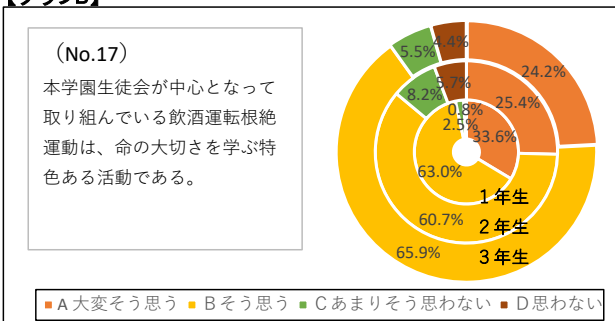
II 教育課程について

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	1年生	25.4%	61.0%	13.6%	0.0%	1.2
		2年生	23.6%	59.3%	9.8%	7.3%	1.0
		3年生	28.6%	61.5%	5.5%	4.4%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	25.2%	65.5%	9.2%	0.0%	1.3
		2年生	18.7%	63.4%	13.8%	4.1%	0.9
		3年生	22.0%	71.4%	3.3%	3.3%	1.2
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進められている。	1年生	26.9%	63.0%	10.1%	0.0%	1.3
		2年生	20.3%	65.9%	10.6%	3.3%	1.1
		3年生	18.7%	72.5%	4.4%	4.4%	1.1
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	1年生	19.3%	66.4%	10.1%	4.2%	1.0
		2年生	16.3%	53.7%	23.6%	6.5%	0.6
		3年生	14.3%	69.2%	9.9%	6.6%	0.8
8	各種資格取得検定試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	1年生	33.6%	62.2%	3.4%	0.8%	1.6
		2年生	26.0%	63.4%	7.3%	3.3%	1.2
		3年生	38.5%	52.7%	6.6%	2.2%	1.5
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	1年生	26.9%	65.5%	5.9%	1.7%	1.4
		2年生	21.1%	62.6%	13.0%	3.3%	1.0
		3年生	23.1%	62.6%	8.8%	5.5%	1.1
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	1年生	29.4%	66.4%	3.4%	0.8%	1.5
		2年生	22.0%	59.3%	15.4%	3.3%	1.0
		3年生	23.1%	65.9%	7.7%	3.3%	1.2
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	1年生	33.6%	56.3%	7.6%	2.5%	1.4
		2年生	30.1%	55.3%	11.4%	3.3%	1.2
		3年生	31.9%	59.3%	4.4%	4.4%	1.4
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	1年生	32.8%	62.2%	5.0%	0.0%	1.6
		2年生	23.6%	59.3%	13.8%	3.3%	1.1
		3年生	23.1%	68.1%	5.5%	3.3%	1.2



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



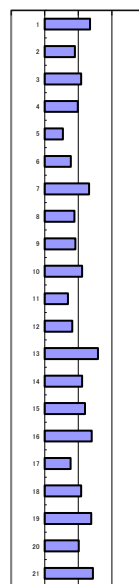
【分析・考察】

○グラフB(設問17)より
本学園生徒会が中心になって取り組んでいる飲酒運転根絶運動に対して、命の大切さについて認識を深める学びの機会であるとしかりと考えている結果である。i-Lion dayの取組の成果である。(B-17)
○表B(設問14)より
ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)について、2学年並びに3学年の数値が下がっている。社会で活躍するためにも学校生活のルールを守ることの大切さを生徒一人一人に心に響くように指導に努めたい。(B-14)

【表B】

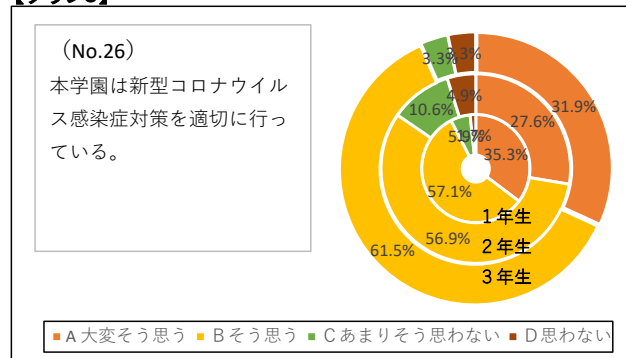
No.	設 問		A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	1年生	27.7%	63.0%	8.4%	0.8%	1.4
		2年生	18.7%	61.0%	17.1%	3.3%	0.9
		3年生	18.7%	72.5%	3.3%	5.5%	1.1
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	1年生	22.7%	58.0%	15.1%	4.2%	1.0
		2年生	11.4%	61.0%	21.1%	6.5%	0.5
		3年生	15.4%	67.0%	8.8%	8.8%	0.8
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	1年生	30.5%	59.3%	5.9%	4.2%	1.3
		2年生	17.2%	63.9%	14.8%	4.1%	0.9
		3年生	18.7%	65.9%	7.7%	7.7%	0.9
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	1年生	29.4%	52.1%	13.4%	5.0%	1.1
		2年生	20.3%	54.5%	14.6%	10.6%	0.7
		3年生	19.8%	59.3%	13.2%	7.7%	0.8
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	1年生	33.6%	63.0%	2.5%	0.8%	1.6
		2年生	25.4%	60.7%	8.2%	5.7%	1.1
		3年生	24.2%	65.9%	5.5%	4.4%	1.2
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	1年生	28.6%	63.9%	6.7%	0.8%	1.4
		2年生	17.1%	61.0%	15.4%	6.5%	0.8
		3年生	19.8%	69.2%	6.6%	4.4%	1.1
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	1年生	29.4%	62.2%	6.7%	1.7%	1.4
		2年生	22.8%	61.0%	10.6%	5.7%	1.0
		3年生	30.8%	62.6%	4.4%	2.2%	1.4

-1 0 1 2 3



C その他

【グラフC】



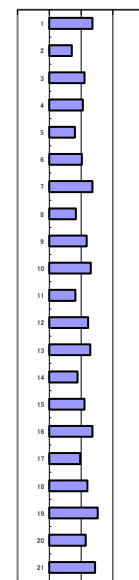
【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策について、適切に行っているとの結果になっている。(C-26)
○表C(設問23)より
入学以来、1学年生徒の意識は高いが、2学年で意識の低下が現れている。日々努力することの大切さを伝えていき、生徒一人一人の目標達成に向けて支援に努めたい。(C-28)

【表C】

No.	設 問		A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	1年生	32.8%	55.5%	8.4%	3.4%	1.4
		2年生	23.6%	48.8%	17.1%	10.6%	0.7
		3年生	26.4%	58.2%	9.9%	5.5%	1.1
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	1年生	24.4%	60.5%	8.4%	6.7%	1.1
		2年生	21.1%	52.8%	21.1%	4.9%	0.8
		3年生	23.1%	60.4%	11.0%	5.5%	1.0
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	1年生	30.3%	60.5%	5.9%	3.4%	1.4
		2年生	19.5%	61.0%	11.4%	8.1%	0.8
		3年生	24.2%	64.8%	6.6%	4.4%	1.2
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	1年生	28.6%	59.7%	10.1%	1.7%	1.3
		2年生	19.5%	56.1%	20.3%	4.1%	0.8
		3年生	25.6%	64.4%	5.6%	4.4%	1.2
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	1年生	26.9%	62.2%	9.2%	1.7%	1.3
		2年生	17.9%	63.4%	13.8%	4.9%	0.9
		3年生	20.9%	65.9%	11.0%	2.2%	1.1
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	1年生	29.4%	62.2%	5.0%	3.4%	1.4
		2年生	22.0%	59.3%	13.8%	4.9%	1.0
		3年生	25.3%	63.7%	6.6%	4.4%	1.2
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	1年生	35.3%	57.1%	5.9%	1.7%	1.5
		2年生	27.6%	56.9%	10.6%	4.9%	1.1
		3年生	31.9%	61.5%	3.3%	3.3%	1.4

-1 0 1 2 3



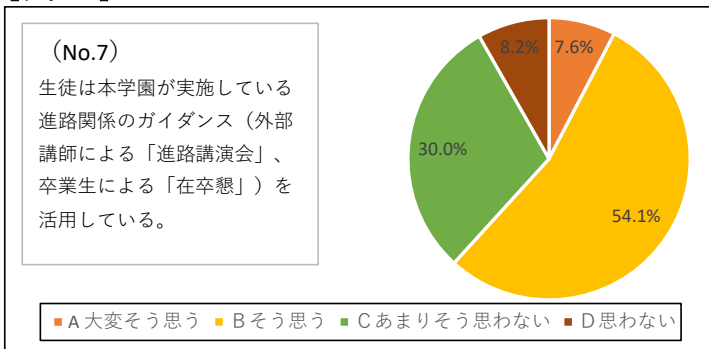
調査結果と考察

7 技能開発コース

(2) 保護者対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: 思わない
 評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

【分析・考察】

○グラフA(設問7)より

生徒・教職員と同様に「進路ガイダンス」「在卒懇」の活用が十分ではないことを示しているものと推察する。進路ガイダンスや在卒懇について、新型コロナウイルスへの感染対策を行いながら、実施の方法の工夫や内容の充実を図っていききたい。(A-7)

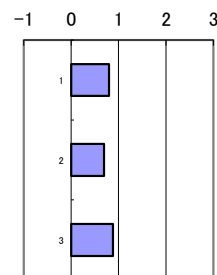
○表A(設問3)より

本コースの特長を理解していただいております。進路実現に役立っていると評価していただいております。今後もより良い教育課程を目指して改善に努めていききたい。(A-3)

【表A】

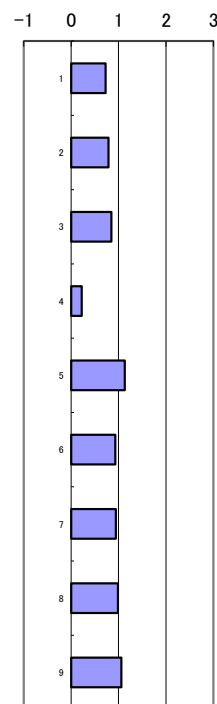
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	9.4%	73.5%	14.7%	2.4%	0.8
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	8.8%	68.8%	20.6%	1.8%	0.7
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活発化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	10.7%	74.6%	13.0%	1.8%	0.9



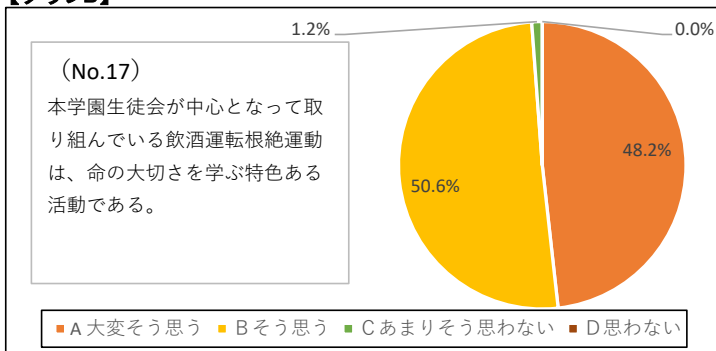
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	8.2%	74.1%	13.5%	4.1%	0.7
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	8.2%	74.1%	16.5%	1.2%	0.8
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	8.8%	75.9%	14.1%	1.2%	0.8
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス（外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」）を活用している。	7.6%	54.1%	30.0%	8.2%	0.2
8	各種資格取得試験（英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等）は、生徒の進路達成に役立っている。	16.6%	74.6%	7.7%	1.2%	1.1
9	本学園が実施している各種の課外学習（放課後講習・夏期講習）は生徒の進路達成に役立っている。	12.9%	72.4%	12.9%	1.8%	0.9
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	11.8%	73.4%	14.8%	0.0%	0.9
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	20.0%	61.8%	15.9%	2.4%	1.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	20.6%	64.1%	12.9%	2.4%	1.1



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】



【分析・考察】

○グラフB(設問17)より

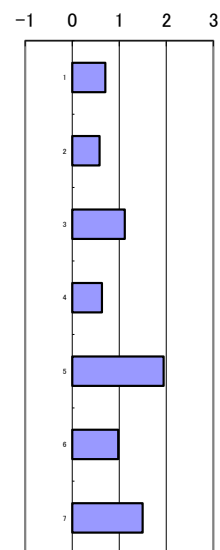
生徒・教職員と同じく学園生徒会が中心に取り組んでいる飲酒運転根絶運動の取組に高い評価をしていただいていることが現れている。命の大切さを学ぶ貴重な機会として今後も継続して取り組んでいかなければならない。(B-17)

○表B(設問14)より

保護者の皆様も、ゼロディフェクト運動（学校生活正常化運動）の成果が上がっていないと評価される方が少なくない。基本的な生活習慣や服装指導等を保護者の皆さまの協力をいただきながら工夫して実施していききたい。(B-14)

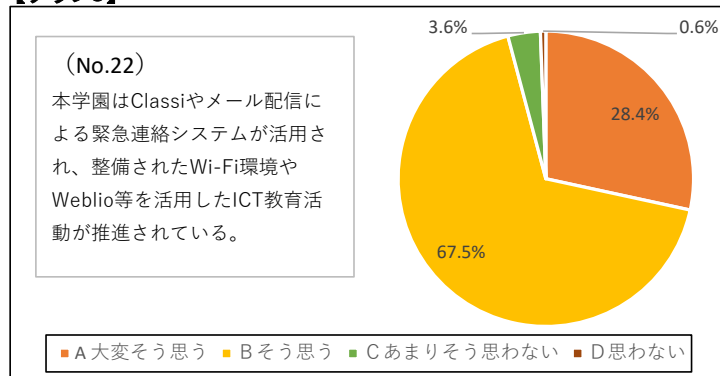
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	9.5%	68.0%	20.7%	1.8%	0.7
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	6.5%	68.5%	22.6%	2.4%	0.6
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	14.7%	77.1%	7.6%	0.6%	1.1
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	9.5%	65.7%	21.9%	3.0%	0.6
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	48.2%	50.6%	1.2%	0.0%	1.9
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	11.8%	76.3%	10.7%	1.2%	1.0
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	31.4%	63.3%	4.1%	1.2%	1.5



C その他

【グラフC】



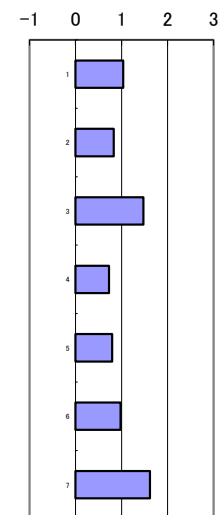
【分析・考察】

○グラフC(設問22)より
Classiやメール配信の迅速さや充実感を評価しているものと思われる。今年度より1年次生全員がOwnPCを購入しているが、授業での活用に更なる工夫ができるようにしていきたい。(C-22)

○表C(設問26)より
新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っていると高く評価していただいている。保護者の皆様のご理解とご協力に感謝いたします。(C-26)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	20.1%	63.9%	13.6%	2.4%	1.0
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	7.7%	78.0%	12.5%	1.8%	0.8
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	28.4%	67.5%	3.6%	0.6%	1.5
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	14.2%	60.4%	23.1%	2.4%	0.7
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	12.4%	68.0%	16.6%	3.0%	0.8
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	13.7%	73.8%	10.1%	2.4%	1.0
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	34.9%	62.1%	1.8%	1.2%	1.6



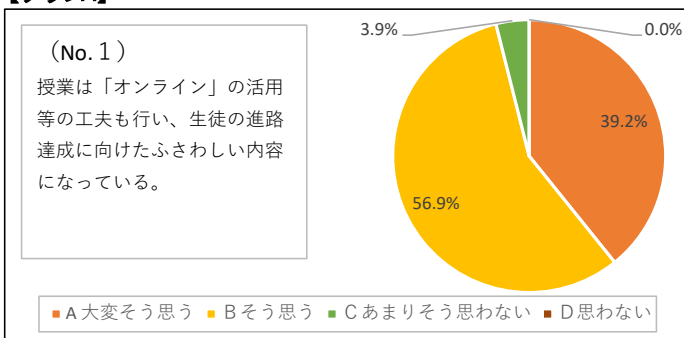
調査結果と考察

7 技能開発コース

(3)教職員対象

A 学力向上及び進学実績の向上に関すること

【グラフA】



A: 大変そう思う B: そう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない
評価平均値 = (A度数 × 3 + B度数 × 1 + C度数 × (-1) + D度数 × (-3)) ÷ (総度数)

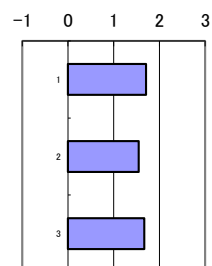
【分析・考察】

○グラフA(設問1)より
オンラインによる授業配信に慣れ、それぞれの教員がオンラインならではの工夫をしているものと推察できる。(A-1)
○表A(設問7)より
「進路ガイダンス」「在卒懇」の活用が十分でないことを示している。コロナ禍であっても、ガイダンスの実施や内容の充実を図っていききたい。(A-7)

【表A】

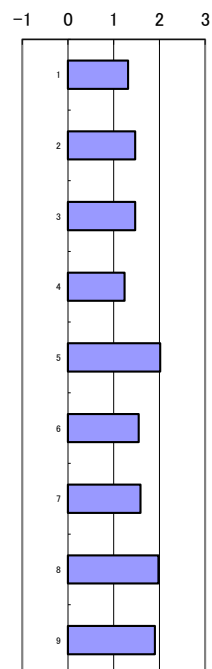
I 授業について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
1	授業は「オンライン」の活用等の工夫も行い、生徒の進路達成に向けたふさわしい内容になっている。	39.2%	56.9%	3.9%	0.0%	1.7
2	オンライン授業を効果的にするために、教授法や学習支援の方法を十分に検討して実践している。	35.3%	56.9%	7.8%	0.0%	1.5
3	平成21年度からコースの特性をよりよく生かし、学力向上、部活動の活性化、各種検定の実施などを行っているが、このことは生徒の進路実現に役立っている。	37.3%	58.8%	3.9%	0.0%	1.7



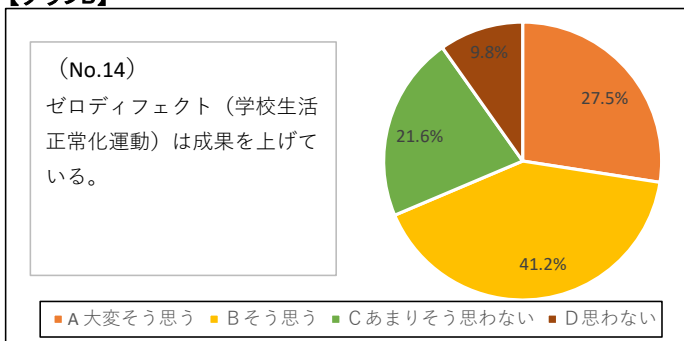
II 教育課程について

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
4	各コースは個性を尊重し、個々の能力に応じた教育内容を設定しているが、生徒は所属しているコースの学習に満足している。	31.4%	52.9%	15.7%	0.0%	1.3
5	各コースの教育課程の編成と実施は生徒の進路達成に役立っている。	33.3%	56.9%	9.8%	0.0%	1.5
6	各コースでは、個性を尊重し生徒の個々の能力に応じた学習内容を設定して、毎日の授業で進めている。	33.3%	56.9%	9.8%	0.0%	1.5
7	生徒は本学園が実施している進路関係のガイダンス(外部講師による「進路講演会」、卒業生による「在卒懇」)を活用している。	33.3%	51.0%	9.8%	5.9%	1.2
8	各種資格取得試験(英語検定、漢字検定、数学検定、情報処理検定、ニュース時事能力検定等)は、生徒の進路達成に役立っている。	51.0%	49.0%	0.0%	0.0%	2.0
9	本学園が実施している各種の課外学習(放課後講習・夏期講習)は生徒の進路達成に役立っている。	35.3%	56.9%	7.8%	0.0%	1.5
10	本学園が実施している定期考査・校内実力試験・校外模擬試験は、生徒の学習診断分析や進路達成に対応できるよう工夫されている。	35.3%	58.8%	5.9%	0.0%	1.6
11	先生は生徒の学習や進路の相談に適切に対応している。	49.0%	51.0%	0.0%	0.0%	2.0
12	本学園は生徒・保護者と意思疎通をはかるために「面談」、「教育懇談会」を適切に実施している。	47.1%	51.0%	2.0%	0.0%	1.9



B 心豊かな人間性の育成に関すること

【グラフB】

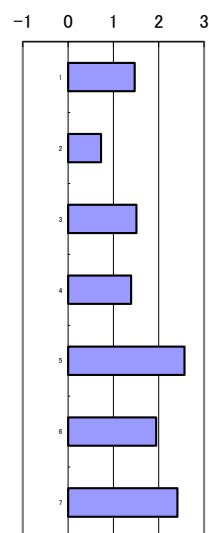


【分析・考察】

○グラフB(設問14)より
低い数値にはなっているが、日常的に声掛けを行い指導しているところは高く評価したい。教員と生徒の人間関係が良好な関係を築きながら、あるべき仙台育英学園生の姿になるように支援していかなければならない。(B-14)
○表B(設問17)より
i-Lion Dayの取り組みにより、意識が高まったものと考察できる。今後とも継続して取り組んでいきたい。(B-17)

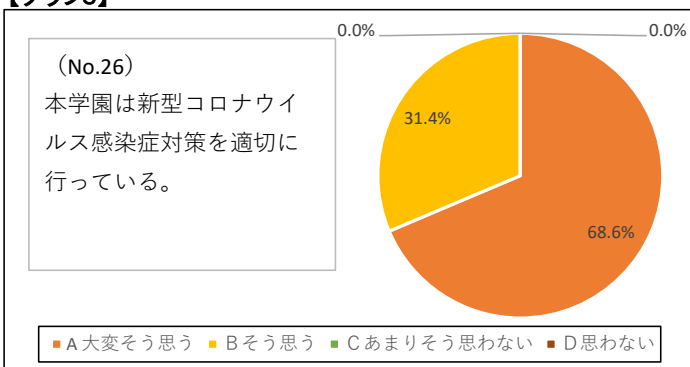
【表B】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
13	学園の教育理念(「至誠」、「質実剛健」、「自治進取」)が教育の中で大切にされている。	39.2%	45.1%	15.7%	0.0%	1.5
14	ゼロディフェクト(学校生活正常化運動)は成果を上げている。	27.5%	41.2%	21.6%	9.8%	0.7
15	本学園が行っている地域清掃活動やボランティア活動は、生徒の人間性の育成に役立っている。	37.3%	51.0%	11.8%	0.0%	1.5
16	育英祭・秀光祭は、生徒の心豊かな人間性の育成という目的を達成している。	37.3%	45.1%	17.6%	0.0%	1.4
17	本学園生徒会が中心となって取り組んでいる飲酒運転根絶運動は、命の大切さを学ぶ特色ある活動である。	78.4%	21.6%	0.0%	0.0%	2.6
18	本学園の「国際バカロレアプログラム」「海外研修」「交換留学」「Weblioを活用した英語学習」等は、グローバルな人材の育成や国際理解教育に効果的である。	52.9%	41.2%	5.9%	0.0%	1.9
19	本学園は、新型コロナウイルス感染症対策に協力し、新しい生活様式を進んで取り入れている。	72.5%	25.5%	2.0%	0.0%	2.4



C その他

【グラフC】



【分析・考察】

○グラフC(設問26)より
【項目19】2.4ポイント、【項目26】2.4ポイントと高い評価になっており、新型コロナウイルス感染症の対策に適切に取り組んでいる点が挙げられる。(C-26・19)

○表C(設問23)より
教職員から見ると、「A:大変そう思う」と考える数値が27.5%と高くないが、もっと努力して欲しいという思いが表れているものと考察できる。(C-23)

【表C】

No.	設 問	A	B	C	D	評価値
20	本学園の施設設備(校舎・校庭・食堂・売店等)に生徒は満足している。	47.1%	39.2%	13.7%	0.0%	1.7
21	本学園では、いじめの未然防止のために相談窓口が整備され、生徒アンケートを行っており、事案発生の際には早期解決に向けて組織的に取り組んでいる。	49.0%	47.1%	3.9%	0.0%	1.9
22	本学園はClassiやメール配信による緊急連絡システムが活用され、整備されたWi-Fi環境やWeblio等を活用したICT教育活動が推進されている。	58.8%	37.3%	3.9%	0.0%	2.1
23	生徒は入学以来、自分の目標達成に向かって日々努力している。	27.5%	58.8%	13.7%	0.0%	1.3
24	先生方は、集団の中で特別な支援・配慮を要する生徒等の実態把握・情報共有に基づき、個に応じたきめ細やかな指導の実践に努めている。	41.2%	51.0%	7.8%	0.0%	1.7
25	先生方は体罰禁止やハラスメント防止の方針を遵守し、職員間、職員と生徒との良好な人間関係づくりに努めている。	47.1%	47.1%	5.9%	0.0%	1.8
26	本学園は新型コロナウイルス感染症対策を適切に行っている。	68.6%	31.4%	0.0%	0.0%	2.4

